



取扱説明書
HUSQVARNA AUTOMOWER®
520/550



JA, 日本語

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をしっかりと把握してください。

目次

1 安全性	4.7 セキュリティ	29
1.1 安全性の定義	4.8 Automower® Connect (Bluetooth® のみ)	30
1.2 一般的な安全注意事項	4.9 メッセージ (Bluetooth® のみ)	30
1.3 設置の安全注意事項	4.10 Husqvarna Fleet Services™	30
1.4 操作のための安全注意事項	5 Operation (操作)	
1.5 メンテナンスのための安全注意事項	5.1 メインスイッチ	32
1.6 バッテリーの安全	5.2 開始	32
1.7 本製品の持ち上げと移動	5.3 動作モード - START	32
2 はじめに	5.4 動作モード - Park (駐車)	33
2.1 サポート	5.5 本製品の停止方法	33
2.2 製品の説明	5.6 本製品をオフにする	33
2.3 製品の概要	5.7 バッテリーの充電	34
2.4 製品に表記されるシンボルマーク	6 メンテナンス	
2.5 Automower® Connect のマーク	6.1 はじめに - メンテナンス	35
2.6 バッテリーのマーク	6.2 メンテナンスのスケジュール	35
2.7 取扱説明書全般	6.3 製品の清掃	36
2.8 Automower® Connect の設定の構成の概要 (1)	6.4 ブレードの交換	37
2.9 Automower® Connect の設定の構成の概要 (2)	6.5 ホイールブラシの交換	37
2.10 Automower® Connect の設定の構成の概要 (3) (Bluetooth® 短距離圏接続のみ)	6.6 バッテリー	37
3 Installation (設置)	6.7 冬期の保守	38
3.1 はじめに - 設置	7 トラブルシューティング	
3.2 設置用の主要部品	7.1 はじめに - トラブルシューティング	39
3.3 設置準備	7.2 故障メッセージ	39
3.4 ワイヤを設置する前に	7.3 情報メッセージ	45
3.5 本製品の設置	7.4 チャージステーションの LED インジケータランプ	47
3.6 ペグを使ってワイヤを所定の位置に固定する方法	7.5 本製品の LED インジケータランプ	48
3.7 境界ワイヤまたはガイドワイヤを埋め込む方法	7.6 症状	49
3.8 境界ワイヤまたはガイドワイヤを延長する方法	7.7 ループワイヤの損傷を発見	50
3.9 本製品設置後の点検	8 搬送、保管、廃棄	
3.10 Automower® Connect	8.1 搬送	53
4 設定	8.2 保管	53
4.1 スケジュール	8.3 廃棄	53
4.2 刈高	9 主要諸元	
4.3 操作	9.1 主要諸元	54
4.4 設置	9.2 登録商標	56
4.5 アクセサリー	10 日本市場に適用可能	
4.6 全般 (Bluetooth® のみ)	10.1 コンプライアンス要件	57

1 安全性

1.1 安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

1.2 一般的な安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本取扱説明書をよくお読みにになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を使用してください。後で参照できるように保管しておいてください。
- 本機は、身体能力、感覚能力、または精神能力（本製品の安全な取り扱いに影響する可能性がある）が低下した人や子供、または経験や知識のない人による使用を想定していません。ただし、使用者の安全に責任を負う人が本機の使用に関して監督や指導をする場合を除きます。ただし、EU 要件により、本機は 8 才以上の小児、または身体的、知覚的、精神的障害のある方、および経験や知識の浅い方でも、保護者または責任者の監視の下、または本装置の安全な使用に関する説明を受け、起こりうる危険について理解した上で使用することができます。本装置を小児の玩具にしないでください。クリーニングおよびメンテナンスは、保護者による監視のない限り、小児に行わせてはいけません。
- 本製品には、Husqvarna から推奨される装置のみを使用することができます。それ以外の使用は適切ではありません。
- 人（特にお子様）や動物が作業エリアにいるときには、本製品を決して使用しないでください。
- 本製品が公共の場所で動作する場合は、作業エリアに警告標識を設置する必要があります。標識には次のテキストを含める必要があります。警告! ロボット芝刈機! 機械に近づかないでください! お子様を近づけないでください!
- 完全に停止するまでブレードディスクなどの稼働する危険な部品には触らないでください。
- 詰まりを解消する前、メンテナンスまたは検査を行う前や、製品が異常に振動し始めた場合は、本製品をオフにしてください。本製品を再起動する前に、損傷がないことを点検してください。損傷している場合は、本製品を使用しないでください。
- 負傷や事故が発生した場合は、医師にご相談ください。
- 電源ケーブルと延長ケーブルを作業エリアに置かないでください。ケーブルが損傷するおそれがあります。
- 損傷したケーブルやプラグを接続したり、電源から切断する前に損傷したケーブルに触れたりしないでください。動作中にケーブルが損傷した場合は、電源コンセントからプラグを外します。消耗または損傷したケーブルを使用すると、感電のリスクが高くなります。損傷したケーブルはサービス担当者が交換する必要があります。
- 電源をコンセントに接続する場合は、トリップ電流が最大 30mA の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。
- 本製品は付属のチャージステーションでのみ充電してください。バッテリーを安全に廃棄する方法については、を参照してください 廃棄 53 ページ。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。電解液が漏れた場合は、水/中和剤で洗い流します。腐食性の液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。
- Husqvarna が推奨する純正バッテリーのみを使用してください。純正バッテリー以外を使用した場合、製品の安全は保証されません。充電式ではないバッテリーは使用しないでください。
- 設置手順（作業エリアの指定を含む）に従ってください。参照： *Installation* (設置) 13 ページ。
- 本製品の始動と操作に関する手順に従ってください。参照： *Operation* (操作) 32 ページ。
- 雷雨の危険性がある場合は、Husqvarna では、電気部品の損傷を防ぐためにチャージステーションへの電源とすべての配線の接続を外すことをお勧めします。雷雨の危険がなくなった場合に電源装置とすべての配線を再度接続します。すべての配線が正しく接続されていることが重要です。
- 保守手順に従い、必要に応じて Husqvarna 純正スベアパーツを使用してください。参照： *メンテナンス* 35 ページ。
- 質量、寸法、騒音排出の値などの主要諸元については、 *主要諸元* 54 ページを参照してください。
- 作業者は、他の人またはその所有物に発生した事故または危険の責任を負います。
- 本製品の操作、メンテナンス、および修理は、必ずその特性と安全基準に完全に精通している担当者のみが行ってください。
- 本製品の設計に変更を加えてはいけません。

- 電氣的安全性に関する各国の規制に従ってください。
- Husqvarna は、リモコンや無線送信機などの他の無線システムと本製品の間の互換性を完全には保証していません。
- 内蔵アラームが大音量で鳴ります。本製品を室内から操作する場合は、特に注意が必要です。
- 動作および保管の温度範囲は 0~50 °C/32~122 °F です。充電の温度範囲は 0~45 °C/32~113 °F です。温度が高すぎると、本製品が損傷する可能性があります。

1.3 設置の安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- チャージステーションおよびアクセサリは、可燃物から 60 cm (24 インチ) 以内の場所には設置しないでください。不具合が生じた場合は、チャージステーションや電源装置が過熱して火災が発生する可能性があります。
- 電源装置は、水に浸る危険性のある高さに置かないでください。電源装置は、地面に置かないでください。
- 電源装置は、密閉しないでください。結露水が電源装置に悪影響を与え、感電の危険性を高めるおそれがあります。
- 蟻などの害虫がいる場所には、チャージステーションを設置しないでください。
- 米国/カナダに適用。電源が屋外に設置されている場合: 感電のおそれがあります。必ずアタッチメントプラグキャップを抜き差しできる耐熱性のエンクロージャを備えたクラス A GFCI レセプタクル (RCD) に取り付けてください。
- 水が溜まるおそれがある場所に、チャージステーションを設置しないでください。

1.4 操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 回転しているブレードに手や足を近づけないでください。電源がオンの場合は、本製品の近くまたは下に手や足を近づけないでください。
- 人、特に子供や、動物などが作業エリアにいるときは、駐車モードを使用するか、本製品をオフにしてください。参照： 本製品をオフにする 33 ページ。Husqvarna は、作業エリアにアクティビティがない場合に動作するように本製品を設定することをお勧めします。本製品は、夜に作業エリアでハリネズミなどの動物を負傷させる原因となることがあります。参照： スケジュール 24 ページ。

- 芝生に石、枝、工具、おもちゃなどの異物がないことを確認します。ブレードは障害物に当たると損傷する可能性があります。
- 本製品がオンに設定されている場合は、持ち上げたり移動したりしないでください。
- 本製品が人や動物に衝突しないようにしてください。人や動物が本製品の進行方向に存在する場合、直ちに本製品を停止してください。参照： 本製品の停止方法 33 ページ。
- 本製品やチャージステーション上に物を置かないでください。
- [STOP]** ボタンが作動しない場合は、本製品を使用しないでください。
- 使用中でないときは、本製品をオフに設定してください。正しい PIN コードを入力した場合のみ本製品を起動できます。
- ポップアップスプリングラーと同時に本製品を使用しないでください。スケジュール機能を使用して、本製品とポップアップスプリングラーが同時に動作しないようにしてください。参照： スケジュール 24 ページ。
- 作業エリアに水が溜まっている場合は、本製品を動作させないでください。例えば、大雨で水たまりができている場合などです。

1.5 メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

- 製品のメンテナンスを行う場合に **OFF** に設定します。
- 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。本製品の清掃には溶剤を使用しないでください。
- チャージステーションの清掃またはメンテナンスを行う前に、チャージステーションのプラグを抜いてください。

1.6 バッテリーの安全



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、水、火、または高温にさらされると、爆発したり火災を起こす原因となります。慎重に取り扱ってください。バッテリーを分解したり、開けたり、電氣的/機械的な不正使用をしないでください。直射日光にさらされるような環境に保管しないでください。

1.7 本製品の持ち上げと移動

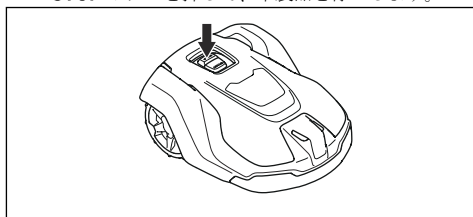


警告： 本製品を持ち上げる前に、オフに設定する必要があります。**メインスイッチ**が [0] の位置にセットされている場合、本製品は無効になります。

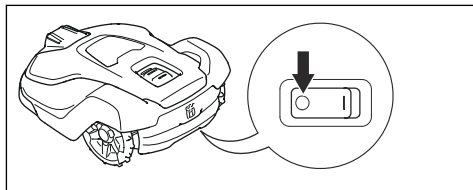


注意： チャージステーションに駐車しているときは、本製品を持ち上げないでください。チャージステーションや本製品が損傷するおそれがあります。**STOP** ボタンを押し、本製品をチャージステーションから引き出してから、本製品を持ち上げてください。

1. **STOP** ボタンを押して、本製品を停止します。



2. **メインスイッチ**を [0] の位置にセットします。



3. 本製品を持ち運ぶ際は、ハンドルを持ち、ブレードディスクを身体に近づけないでください。



2 はじめに

製造番号：

製品番号

PIN コード：

製造番号および製品番号は本製品の銘板と梱包箱に記載されています。

- www.husqvarna.com で製品を登録してください。製品の製造番号、製品番号、購入日を入力して、製品を登録します。

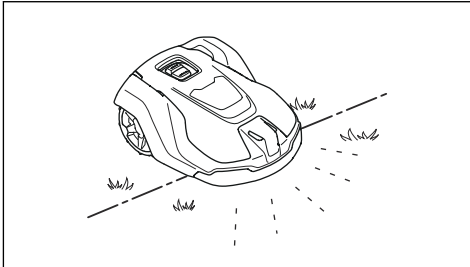
2.1 サポート

本製品のサポートについては、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

2.2 製品の説明

注記： Husqvarna は、製品の外観や機能を定期的に改良しています。参照： サポート 6 ページ。

本製品は、ロボット芝刈機です。本製品にはバッテリー電源が搭載されており、芝を自動的に刈り込みます。芝刈りと充電を常に交互に繰り返します。無作為の動作パターンにより、芝を均等に刈るとともに、摩耗を少なくします。境界ワイヤーとガイドワイヤーで、作業エリア内における製品の動きを制御します。境界ワイヤーに近づく、本製品のセンサーがそれを感知します。本製品の前部は、旋回する前に必ず特定の距離だけ境界ワイヤーを通過します。本製品が障害物に衝突したり、境界ワイヤーに接近したりすると、本製品は新しい方向を選択します。



オペレータは Automower® Connect アプリで動作設定を選択します。アプリには、選択した動作設定、可能な動作設定、および本製品の動作モードが表示されます。

2.2.1 芝刈り方法

頻繁に芝刈りを行うことで、芝の質を改善し、肥料の使用を減らすことができます。芝を集草する必要はありません。

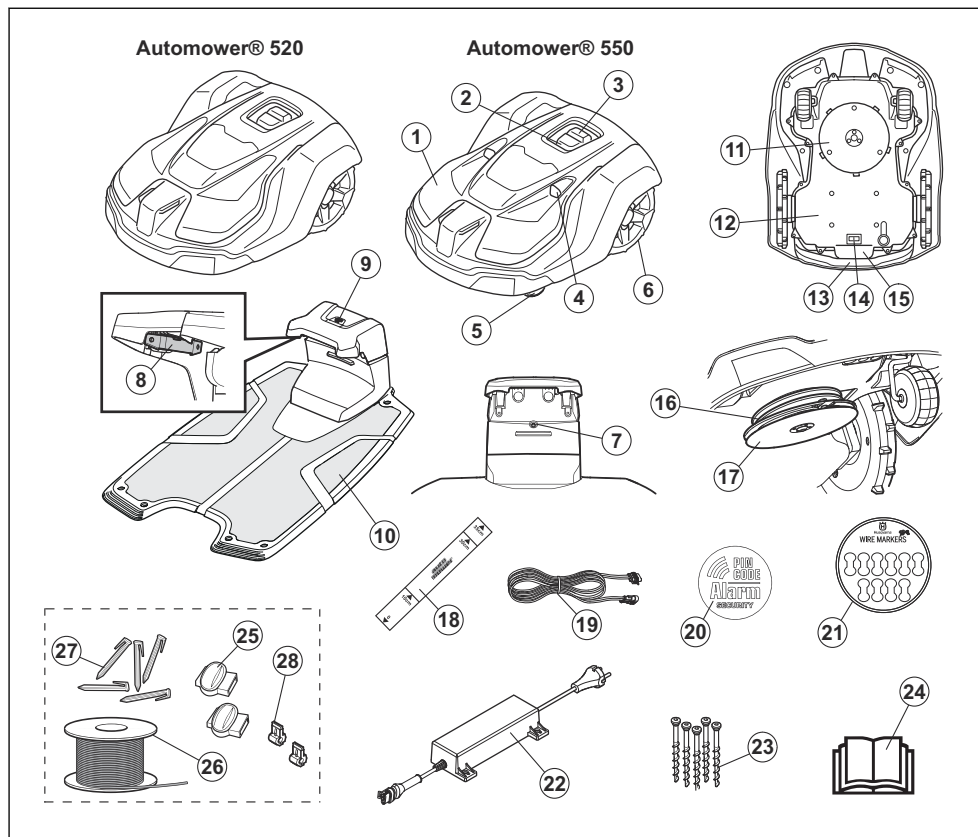
2.2.2 チャージステーションの探索

本製品は、バッテリー残量が少なくなるまで動作したあと、チャージステーションへの移動を開始します。本製品がチャージステーションを見つけるには、以下の 3 つの検索方法があります。チャージステーションの探索 26 ページを参照してください。

2.2.3 Automower® Connect

Automower® Connect は、動作設定をリモートで選択できるモバイルアプリケーションです。Automower® Connect (Bluetooth® のみ) 30 ページを参照してください。

2.3 製品の概要



1. 本体
2. 製品の LED インジケータランプ
3. STOP/START ボタン
4. 超音波センサー
5. フロントホイール
6. リヤホイール
7. チャージステーションの LED インジケータランプ
8. 接触板
9. 駐車ボタン
10. チャージステーション
11. カuttingシステム
12. 電子部品、バッテリー、モーターが搭載されたシャーシボックス

13. ハンドル
14. メインスイッチ
15. 銘板（製品識別コードを含む）
16. ブレードディスク
17. スキッドプレート
18. 測定ゲージ
19. 低電圧ケーブル
20. 警報デカル
21. ケーブルマーカ
22. 電源¹
23. チャージステーション取り付けネジ
24. 取扱説明書およびクイックガイド
25. ループワイヤーのカブラー²

¹ 外観は市場によって異なる場合があります。

² 別売りの設置キットの一部です。

26. 境界ワイヤーとガイドワイヤー用のループワイヤー³
 27. ペグ⁴
 28. ループワイヤーのコネクター⁵

2.4 製品に表記されるシンボルマーク

これらのシンボルマークは本製品上に表示されています。しっかりと確認してください。



警告：本製品を使用する前に説明書をお読みください。



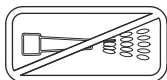
警告：本製品を操作したり、持ち上げたりする前に、本製品をオフにしてください。



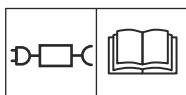
警告：操作時は、本製品から安全な距離を保ってください。回転しているブレードに手や足を近づけないでください。



警告：本製品の上に乗らないでください。手や足を本製品に近づけたり、本製品の下に入れたりしないでください。



本製品は高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。



このシンボルの横にある定格ラベルに記載されている、取り外し可能な電源装置を使用してください。



本製品は EU 指令適合製品です。



本製品は UK 指令適合製品です。



本製品は、通常の家庭ゴミとして処分することはできません。地域の法的要件に従って製品をリサイクルしてください。



シャーシには、静電放電 (ESD) に弱い部品が含まれています。シャーシは、専門的な方法で再度密閉する必要があります。このため、シャーシは、必ず認定サービス技術者が開けるようにしてください。シャーシが破れていると、製品全体または部品の保証が有効でなくなる可能性があります。



低電圧ケーブルは短くしたり、延長したり、接合したりしないでください。

低電圧ケーブルの近くでトリマーを使用しないでください。ケーブルの敷設場所です際刈りをする場合は、十分に注意してください。

2.5 Automower® Connect のマーク



スケジュールメニューでは、本製品が芝を刈る時間を設定します。



刈高のメニューでは、使用者が本製品の刈高を設定することができます。



動作メニューでは、動作に関する設定を手動で行います。



設置メニューでは、設定に関する設定を手動で行います。



アクセサリメニューでは、アクセサリの設定を行います。



設定メニューでは、本製品の一般的な設定を行います。(Bluetooth® 短距離接続でのみ使用可能)

³ 注 2 を参照。

⁴ 注 2 を参照。

⁵ 注 2 を参照。



セキュリティメニューでは、使用者が3つのセキュリティレベルを選べます。
(Bluetooth® 短距離接続でのみ使用可能)



Automower® Connect では、使用者が本製品の Automower® Connect モジュールのオンオフを切り替えることができます。
(Bluetooth® 短距離接続でのみ使用可能)



バッテリーを火の中に廃棄したり、熱源にさらしたりしないでください。



バッテリーは水の中に入れてください。

2.6 バッテリーのマーク



警告：リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、手荒に扱ったりすると、爆発したり火災を起こす原因となります。水、火、高温にさらさないでください。



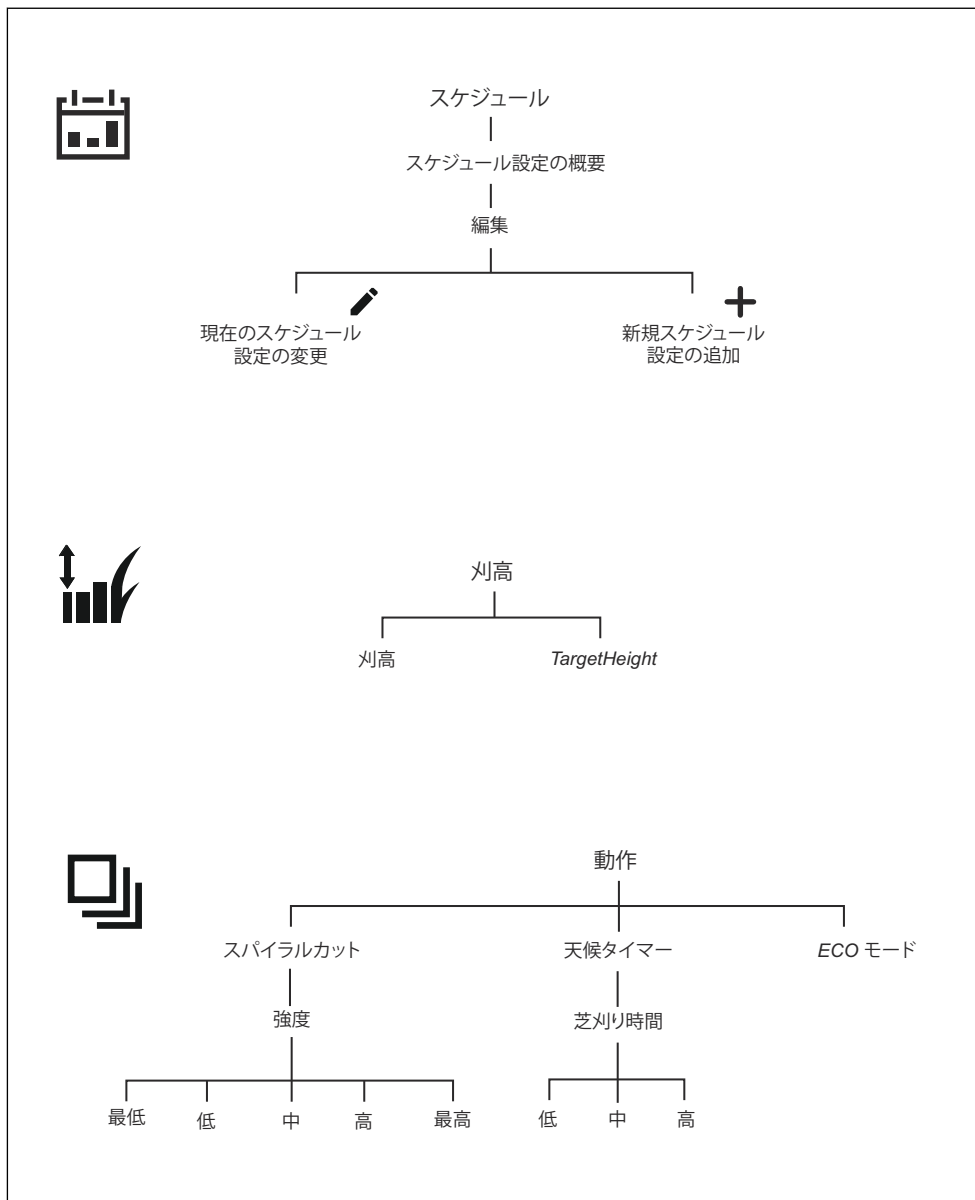
取扱説明書をお読みください。

2.7 取扱説明書全般

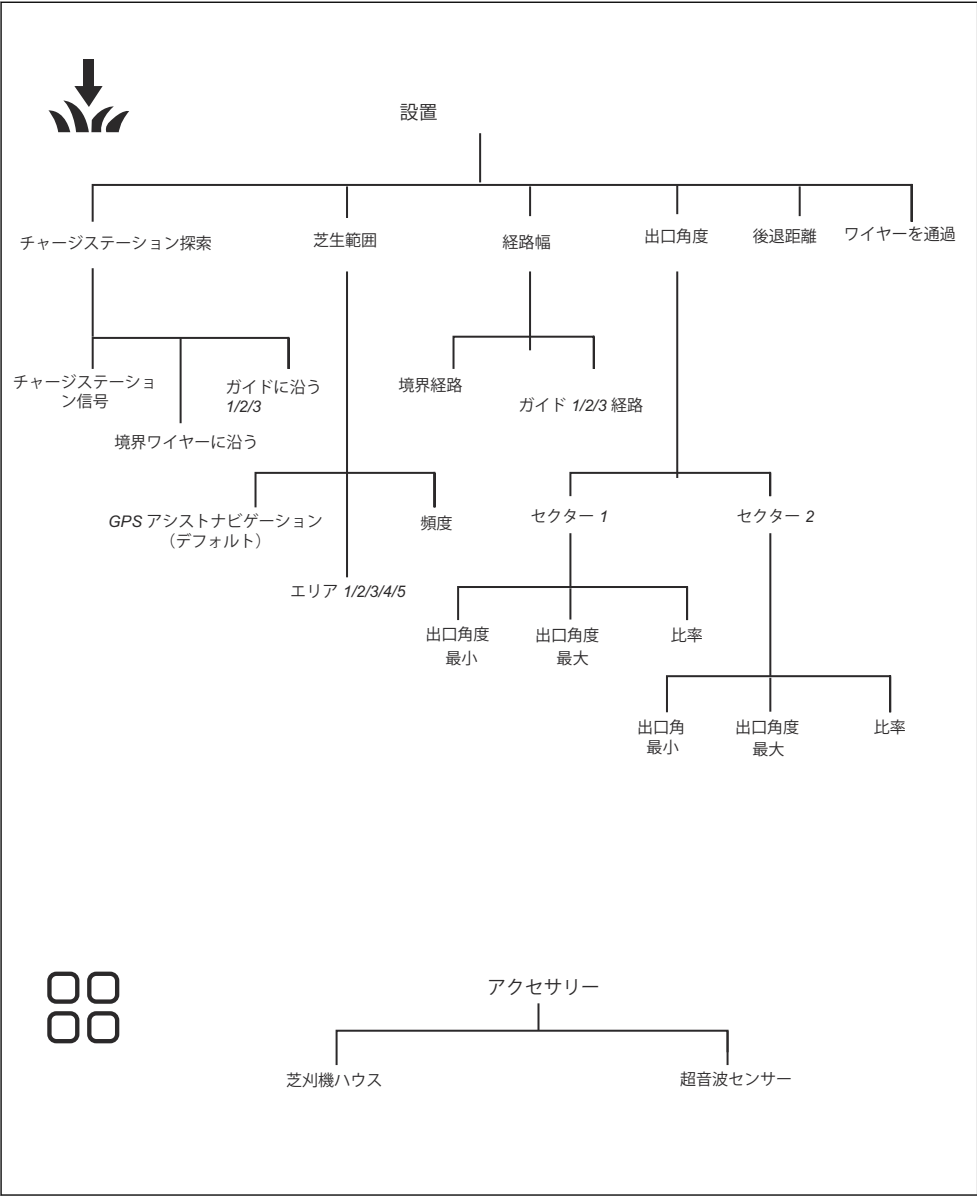
本取扱説明書では、読みやすいように次の表記規則を使用しています。

- *斜体*で記載されたテキストは、Automower® Connect アプリのテキストであるか、取扱説明書の別のセクションを参照していることを示します。
- **太字**のテキストは、本製品または Automower® Connect のボタンを示します。

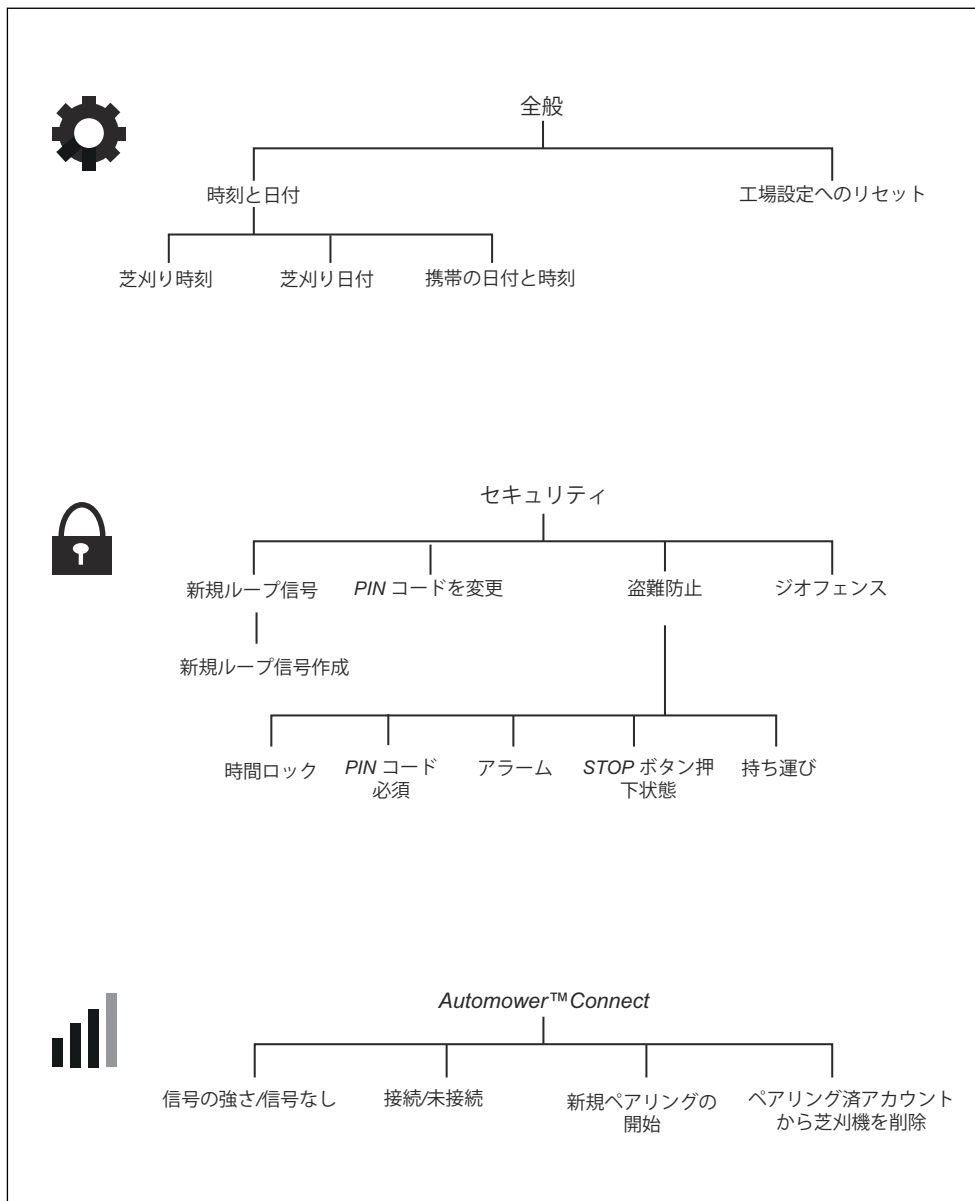
2.8 Automower® Connect の設定の構成の概要 (1)



2.9 Automower® Connect の設定の構成の概要 (2)



2.10 Automower® Connect の設定の構成の概要 (3) (Bluetooth® 短距離圏接続のみ)



3 Installation (設置)

3.1 はじめに - 設置



警告： 本製品を設置する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



注意： 純正のスペアパーツと設置器具を使用してください。

注記： 設置に関する詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

Automower® 550 には、1 つの設置場所で 2～3 台の製品を使用できる Automower® Club Solution ソリューションが搭載されています。Automower® Club Solution 18 ページを参照してください。

3.2 設置用の主要部品

設置には次の部品が必要です。

- 芝生を自動的に刈るロボット芝刈機。
- チャージステーションには、次の 3 種類の機能があります。
 - 境界ワイヤーに沿って制御信号を送信します。
 - ガイドワイヤーに沿って制御信号を送信することで、本製品がガイドワイヤーに従って庭の特定の離れた場所まで移動し、そこからチャージステーションまで戻る道のりがわかるようにします。
 - 本製品を充電します。
- チャージステーションおよび 100V～240V コンセントと接続した電源。
- ループワイヤーは、作業エリアや、物体や樹木の周りなど、本製品が避けるべき場所に敷設します。ループワイヤーは、境界ワイヤーとガイドワイヤーの両方に使用されます。

3.3 設置準備

設置を開始する前に、「設置」の章をお読みください。正常に動作するよう、慎重に本製品の設置準備を行ってください。

- 作業エリアの設置図を作成し、それにすべての障害物を含めておきます。これにより、チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤー位置の検討が容易になります。
- チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーの設置場所を、この設置図に記入します。

- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する場所を設置図に記入します。参照：ガイドワイヤーを取り付ける方法 19 ページ。
- 芝生の穴を埋めて水平にします。



注意： 芝生内に水が入っている穴があると、本製品が損傷するおそれがあります。

- 本製品を設置する前に、芝を刈り込んでトリミングしてください。このとき、芝は 10 cm / 4 インチ以下にする必要があります。

注記： 設置後の最初の数週間は、本製品が芝を刈るときに聞こえる騒音レベルが通常よりも高くなる可能性があります。しばらくすると、騒音レベルは下がります。

3.4 ワイヤーを設置する前に

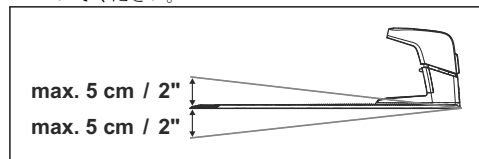
ワイヤーの設置には、ベグを使用するか、または地中に埋めるか、どちらかの方法を選択することができます。同じ作業エリア内で、2 種類の方法を使用することもできます。

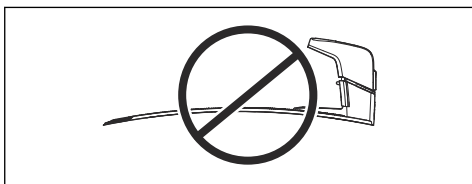


注意： 作業エリアでデサッチャーを使用する場合は、境界ワイヤーとガイドワイヤーの損傷を避けるためにワイヤーを地下に埋設してください。

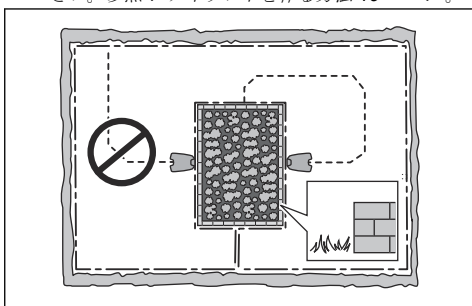
3.4.1 チャージステーションの設置場所について

- チャージステーションの前には、2 m / 7 フィート以上の空きスペースを確保してください。参照：ガイドワイヤーの敷設場所の検証 17 ページ。
- チャージステーション中央から左右に 150 cm / 60 インチ以上の空きスペースを確保してください。
- チャージステーションは、電源コンセントの近くに設置してください。
- チャージステーションは、平らな場所に設置してください。
- チャージステーションのベースプレートを曲げないでください。





- 作業エリアが急勾配の斜面により 2 つのセクションに分割されている場合は、低い方のセクションにチャージステーションを設置することをお勧めします。
- チャージステーションは、日光から保護されている場所に設置してください。
- チャージステーションをアイランドに設置する場合は、ガイドワイヤーをアイランドに接続してください。参照：アイランドを作る方法 16 ページ。



3.4.2 電源装置の取り付け場所について



注意： 本製品のブレードが低電圧ケーブルを切断しないようにしてください。



注意： 低電圧ケーブルをコイル内やチャージステーションプレートの下に置かないでください。コイルはチャージステーションからの信号との干渉を引き起こします。



- 電源装置は、屋根があり、日光や雨から保護されている場所に取り付けてください。
- 電源装置は、適切な換気のある場所に設置してください。
- 電源装置を電源コンセントに接続する場合は、トリップ電流が 30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。

さまざまな長さの低電圧ケーブルが、アクセサリとして用意されています。

3.4.3 境界ワイヤーの敷設場所について



注意： 境界ワイヤーと水域、斜面、崖、公道の間に 15 cm / 6 インチ以上の高さの保護壁を設ける必要があります。これは本製品の損傷を防ぐためです。



注意： 本製品を砂利の上で使用しないでください。



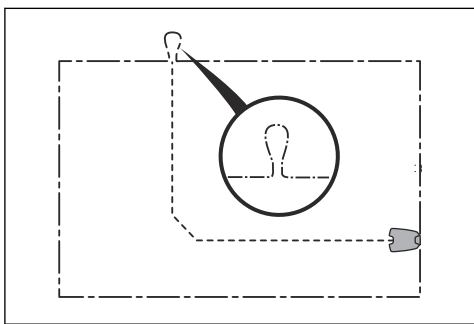
注意： 境界ワイヤーを敷設する際にワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。



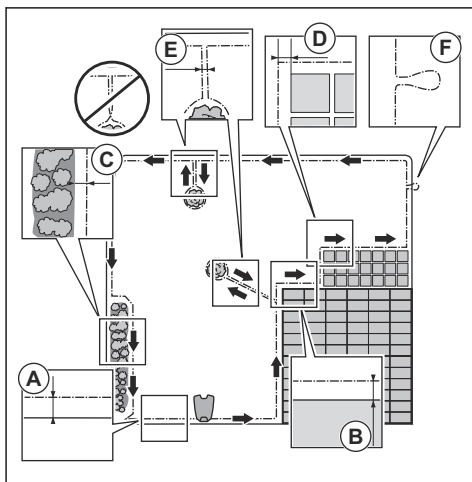
注意： 動作時の異音を防ぐために、樹木、根、石などの障害物をすべて取り除いてください。

境界ワイヤーは作業エリアをひと続きに囲むように敷設する必要があります。本製品が境界ワイヤーに近づいたことを内蔵センサーが感知すると、本製品は別の方向を選択します。作業エリアのすべての部分は、境界ワイヤーから 35 m / 115 フィート以内である必要があります。

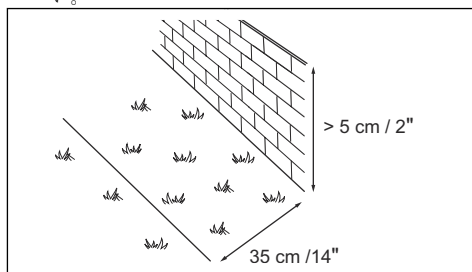
ガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を容易にするため、ガイドワイヤーを接続する場所にアイレットを設置することをお勧めします。境界ワイヤーの約 20 cm / 8 インチの部分にアイレットを設置します。



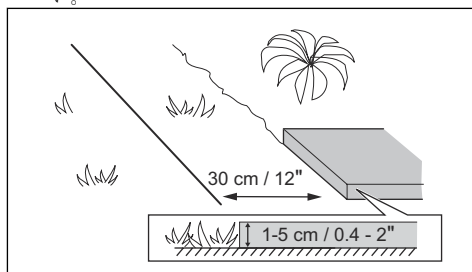
注記： 境界ワイヤーとガイドワイヤーを敷設する前に、作業エリアの設置図を作成してください。



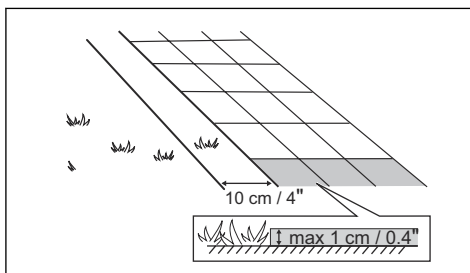
- 境界ワイヤーを作業エリア全体 (A) の周囲に敷設します。境界ワイヤーと各障害物との距離を調整します。
- 高さが $5\text{ cm} / 2\text{ インチ}$ を超える障害物からは、境界ワイヤーを $35\text{ cm} / 14\text{ インチ}$ (B) 離してください。



- 高さが $1.5\text{ cm} / 0.4\text{ - }2\text{ インチ}$ の障害物からは、境界ワイヤーを $30\text{ cm} / 12\text{ インチ}$ (C) 離してください。



- 高さが $1\text{ cm} / 0.4\text{ インチ}$ 未満の障害物からは、境界ワイヤーを $10\text{ cm} / 4\text{ インチ}$ (D) 離してください。



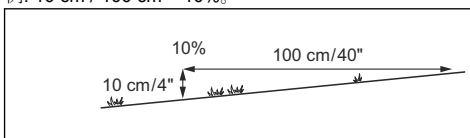
- 芝生と同じ高さの敷石道がある場合は、境界ワイヤーを敷石の下に敷設してください。

注記： 敷石の幅が $30\text{ cm} / 12\text{ インチ}$ 以上の場合、敷石に隣接する芝をすべて刈るには、*Drive Past Wire* (ワイヤーを通過) 機能を工場出荷時の設定にして使用します。参照：ワイヤー通過運転 28 ページ。

- アイランドを作る場合は、アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本を隣接して (E) 敷設します。この 2 本のワイヤーは、同じベグに入れてください。参照：アイランドを作る方法 16 ページ。
- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する位置に、アレット (F) を作成します。

3.4.3.1 境界ワイヤーを斜面に設置する方法

本製品は 45% の斜面でも動作します。急すぎる斜面は、境界ワイヤーで隔離する必要があります。勾配 (%) は、垂直高さを水平距離で割った値として計算されます。
例: $10\text{ cm} / 100\text{ cm} = 10\%$ 。



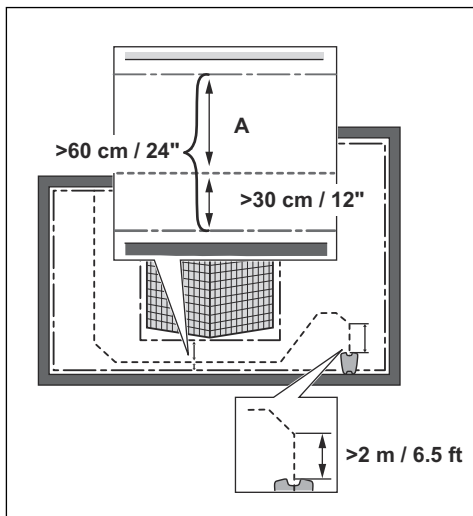
- 作業エリア内の 45% 以上の勾配は、周囲に境界ワイヤーを設置して隔離する必要があります。
- 芝生の外側の勾配が 15% を超える場合は、縁から 20 cm (8 インチ) (A) の位置に境界ワイヤーを設置します。
- 公共の道路に隣接する斜面の場合は、斜面の外縁に $15\text{ cm} / 6\text{ インチ}$ 以上の保護壁を設置してください。壁またはフェンスを保護壁として使用することができます。

3.4.3.2 経路

経路とは、2 つの作業エリアを接続する、両側に境界ワイヤーが設けられたセクションです。経路の両側の境界ワイヤーの距離は $60\text{ cm} / 24\text{ インチ}$ 以上空ける必要があります。

注記： 経路の幅が 2 m / 6.5 フィート未満の場合は、その経路内にガイドワイヤーを通してください。

ガイドワイヤーと境界ワイヤーは、30 cm / 12 インチ以上空けることを推奨します。本製品は、常にチャージステーションに向かって左側のガイドワイヤーに沿って移動します。ガイドワイヤーの左側 (A) にできるだけ多くの空きスペースを設けてください。



3.4.3.3 アイランドを作る方法



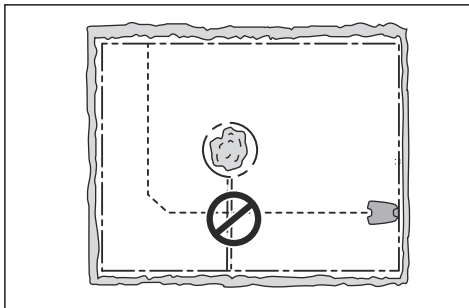
注意： 境界ワイヤー同士を交差させないでください。2 本の境界ワイヤーは平行でなければなりません。



注意： ガイドワイヤーと境界ワイヤーを交差させないでください。



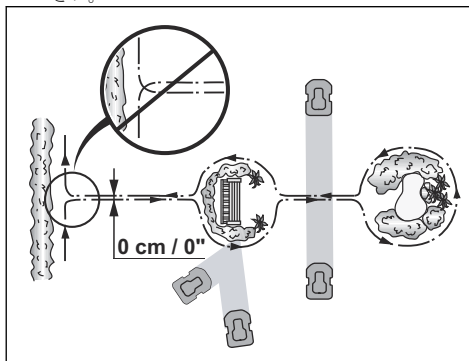
注意： 高さ 15 cm / 5.9 インチ未満の障害物を隔離するか、取り除いてください。石、木、木の根など、わずかに傾斜している障害物を隔離するか、取り除いてください。これは本製品のブレードの損傷を防ぐためです。



アイランドを作るには、境界ワイヤーで作業エリアの一部を隔離します。作業エリア内のすべての障害物を隔離することをお勧めします。

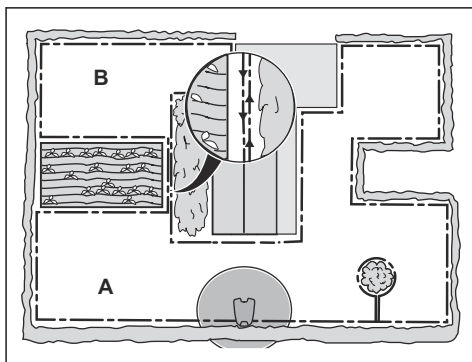
高さ 15 cm / 5.9 インチ以上の木や茂みなど、一部の障害物は衝突に耐えます。本製品はこのような障害物に衝突して新しい方向を選択します。

- 障害物の周りに境界ワイヤーを敷設して、アイランドを作ります。
- アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本は、互いに近づけて設置してください。これにより、本製品はワイヤーを横断します。
- この 2 本の境界ワイヤーは、同じベグに入れてください。



3.4.3.4 セカンダリエリアを作成する方法

作業エリアに、経路でつながっていない 2 つのエリアがある場合は、セカンダリエリア (B) を作成します。チャージステーションのある作業エリアが、メインエリア (A) です。



注記： メインエリアとセカンダリエリア間は、本製品を手動で移動させる必要があります。

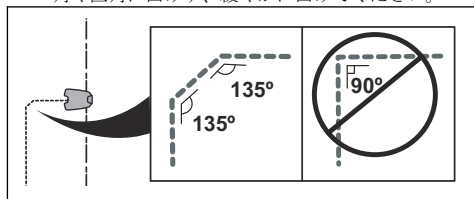
- 境界ワイヤーをセカンダリエリア (B) の周りに敷設して、アイランドを作ります。アイランドを作る方法 16 ページを参照してください。

注記： 境界ワイヤーは作業エリア全体 (A + B) をひとつのループとして囲むように敷設する必要があります。

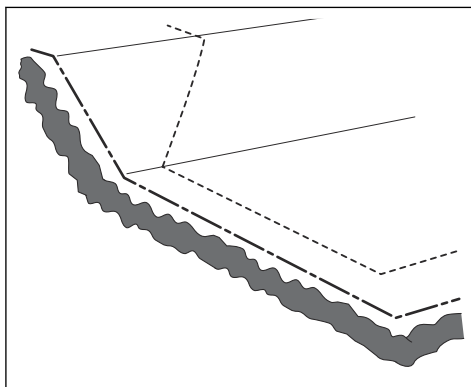
注記： セカンダリエリアで芝を刈る場合は、*[Secondary area (セカンダリエリア)]* モードを選択する必要があります。動作モード - *START32* ページを参照してください。

3.4.4 ガイドワイヤーの敷設場所の検証

- チャージステーションの前から最低 2 m / 7 フィート空けて、ガイドワイヤーをまっすぐに敷設します。
- チャージステーションの正面から見たときのガイドワイヤーの左側に、できるだけ広くスペースを取ってください。参照：チャージステーションの設置場所について 13 ページ。
- ガイドワイヤーは、境界ワイヤーから 30 cm / 12 インチ以上離してください。
- ガイドワイヤーを取り付けるときは、ワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。

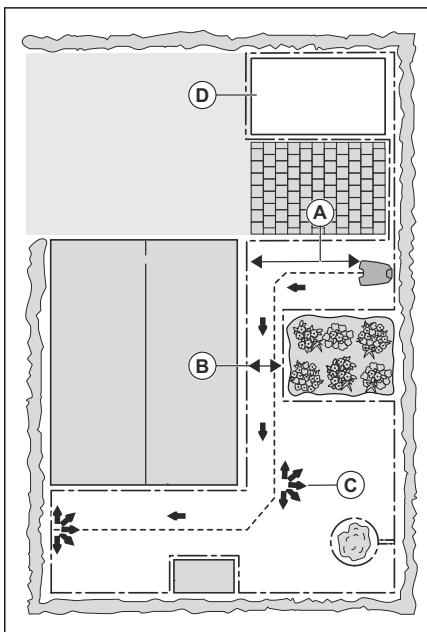


- 作業エリアに斜面がある場合は、ガイドワイヤーを斜面の対角線に配置します。



3.4.5 作業エリアの例

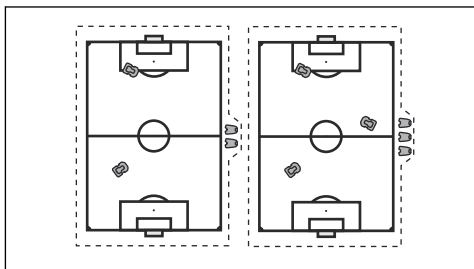
- チャージステーションが狭いエリア (A) に設置されている場合は、チャージステーションの前から境界ワイヤーまでの距離が 3 m / 10 フィート以上あることを確認してください。
- 作業エリアにガイドワイヤーを敷設していない経路 (B) がある場合は、境界ワイヤーの距離を 2 m / 6.5 フィート以上空けることをお勧めします。経路にガイドワイヤーが敷設されている場合は、境界ワイヤーの距離を 60 cm / 24 インチ以上空けることをお勧めします。
- 狭い通路 (B) でつながったエリアが作業エリアにある場合は、最初はガイドワイヤーに沿い、一定の距離 (C) を通過したらガイドワイヤーから離れるように本製品を設定できます。設定は芝生範囲 26 ページで変更できます。
- 本製品に搭載された GPS アシストナビゲーションは、運転の最適化に役立ちます。芝生範囲 26 ページを参照してください。
- 作業領域にセカンダリエリア (D) が含まれている場合は、セカンダリエリア 33 ページを参照してください。本製品をセカンダリエリアに置き、*[Secondary area (セカンダリエリア)]* モードを選択します。



3.4.6 Automower® Club Solution

Automower® Club Solution により、1 つの設置場所で 2 ～3 台の製品を使用することができます。これには、製品内の特別な設定が必要です。また、境界ワイヤーおよびチャージステーションの設置も異なります。

Automower® Club Solution を使用するには、最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。



境界ワイヤーとチャージステーションは並行して設置しなければなりません。作業エリアの最大幅は 70 m/230 フィートです。

Automower® Club Solution 設定を使用する場合の変更点は次のとおりです。

- 本製品は境界ワイヤーに沿って時計方向に移動し、チャージステーションを探します。
- ガイドケーブルは使用できません。
- **Park (駐車)** ボタンは使用できません。

- ブレードディスクの速度と騒音レベルが上がります。

3.5 本製品の設置

3.5.1 設置ツール

- ハンマー／プラスチックハンマー：杭を簡単に地面に打ち込むことができます。
- エッジカッター／まっすぐな鋤：境界ワイヤーを埋設します。
- コンビネーションプライヤー：境界ワイヤーを切断し、コネクターを圧着します。
- アジャスタブルプライヤー：カブラーを圧着します。

3.5.2 チャージステーションを設置する方法



注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。



注意： チャージステーションのベースプレートに足を乗せないでください。



警告： ケーブルの損傷を防ぐため、電源ケーブルと延長ケーブルは作業エリアの外に置く必要があります。



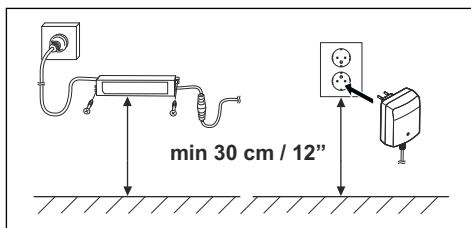
警告： 低電圧ケーブルと電源装置を接続する前に、プラグが清潔で乾燥していることを確認してください。

電源を接続する場合は、漏電遮断器 (RCD) に接続されたコンセントのみを使用してください。

1. チャージステーションに関する指示を読み、理解してください。参照：チャージステーションの設置場所について 13 ページ。
2. 選択した場所にチャージステーションを置きます。

注記： ガイドワイヤーを敷設するまでは、ネジを使用してチャージステーションを地面に固定しないでください。参照：ガイドワイヤーを取り付ける方法 19 ページ。

3. 低電圧ケーブルをチャージステーションに接続します。
4. 電源装置を 30 cm / 12 インチ以上の高さに置きます。



5. 電源装置を 100～240V の電源コンセントに接続します。

注記： チャージステーションが接続されたら、本製品を充電できます。本製品をチャージステーションの上に配置して、境界ワイヤーとガイドワイヤーを敷設します。本製品のスイッチをオンにして充電を開始します。参照：メインスイッチ 32 ページ。設置が完了してから、本製品の設定を続行してください。

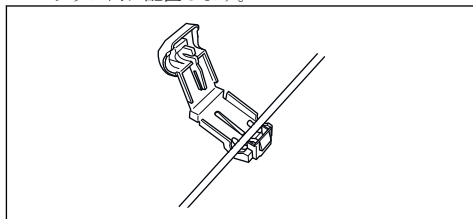
6. ケーブルをベグで地面に固定するか、または地中に埋めます。参照：ベグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法 20 ページまたは 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法 20 ページ。
7. 境界ワイヤーとガイドワイヤーの敷設が完了したら、ワイヤーをチャージステーションに接続します。参照：境界ワイヤーを取り付ける方法 19 ページおよび ガイドワイヤーを取り付ける方法 19 ページ。
8. ガイドワイヤーを取り付けた後、付属のネジを使用してチャージステーションを地面に設置します。参照：ガイドワイヤーを取り付ける方法 19 ページ。

3.5.3 境界ワイヤーを取り付ける方法

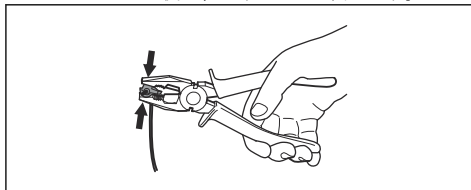


注意： 余ったワイヤーをコイル内に入れないでください。コイルが本製品に対する干渉を起こす場合があります。

1. 作業エリア全体の周囲に境界ワイヤーを設置します。この設置は、チャージステーションの後ろ側から始め、そこで終了するようにしてください。
2. コネクターを開き、境界ワイヤーをコネクターのグリップ内に配置します。



3. プライヤーを使い、コネクターを閉じます。



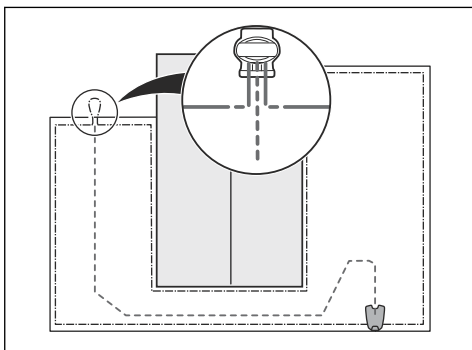
4. この境界ワイヤーを、それぞれのコネクターの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
5. 右側のコネクターを、チャージステーションの「AR」というマークの付いた金属ピンに接続します。
6. 左側のコネクターを、チャージステーションの「AL」というマークの付いた金属ピンに接続します。

3.5.4 ガイドワイヤーを取り付ける方法



注意： ツインケーブルや絶縁テープで絶縁されたネジ式端子ブロックは、満足のいく接合ではありません。土に含まれる湿気でワイヤーが酸化し、一定期間が経過すると回路が損傷します。

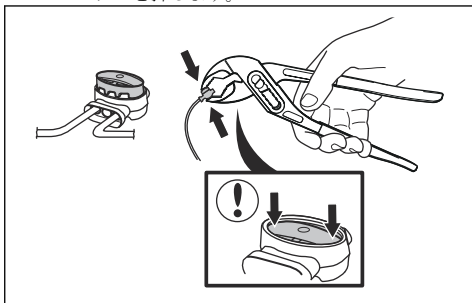
1. コネクターを開き、ワイヤーをコネクターのグリップ内に配置します。
2. プライヤーを使い、コネクターを閉じます。
3. ガイドワイヤーを、それぞれのコネクターの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
4. ガイドワイヤーを押してチャージステーションプレートのスロットに通します。
5. コネクターを、チャージステーションの「G1」というマークの付いた金属ピンに接続します。(該当する場合は、「G2」および「G3」も同様にします)。
6. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。
7. ガイドワイヤーの端を、境界ワイヤーのアイレットに置きます。
8. ワイヤークッターを使用して、境界ワイヤーを切断します。
9. カプラーを使用して、ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続します。



- a) 境界ワイヤーの両端とガイドワイヤーの端をカブラーに入れます。

注記： ガイドワイヤーの両端がカブラーの透明部分を通っていることを確認してください。

- b) 調整式プライヤーを使用して、カブラーのボタンを押します。



10. ガイドワイヤーをペグで地面に取り付けるか、または地中に埋めます。ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法 20 ページまたは境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法 20 ページを参照してください。
11. チャージステーションを電源に接続します。

3.6 ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法



注意： ペグが境界ワイヤーとガイドワイヤーを保持して地面に固定されていることを確認します。



注意： 設置直後に芝を短く刈り込み過ぎると、ワイヤーの絶縁を損傷することがあります。絶縁を損傷しても、数週間または数か

月後まで作業中断が発生しないことがあります。

1. 境界ワイヤーとガイドワイヤーを地面に置きます。
2. ペグを、30 cm / 12 インチ以下の間隔をあけて置きます。
3. ハンマーまたはプラスチックハンマーで、ペグを地面に打ち込みます。

注記： 数週間後には、このワイヤーは芝で覆われて見えなくなります。

3.7 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法

- エッジャーまたはストレートシャベルで、地面に溝を切ります。
- 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを 1-20 cm / 0.4-8 インチの深さで埋め込みます。

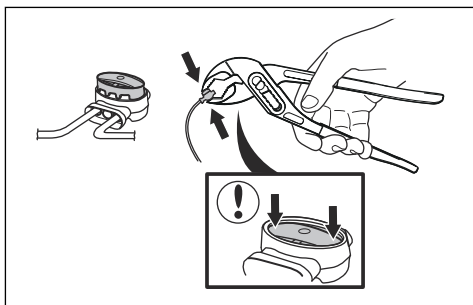
3.8 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを延長する方法

注記： 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーが作業エリアに対して短すぎる場合は、延長します。カブラーなどの予備部品は、純正部品を使用してください。

1. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。
2. 延長用カブラーを取り付ける必要がある場所では、境界ワイヤーまたはガイドワイヤーをワイヤーカッターで切断します。
3. 延長用カブラーを取り付ける必要がある場所に、延長用のワイヤーを追加します。
4. 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを正しい位置に置きます。
5. ワイヤーの端部をカブラー内に入れます。

注記： 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーの端がカブラーの透明部分を通っていることを確認します。

6. アジャスタブルプライヤーでカブラーのカバーを押し下げてカブラーにワイヤーを取り付けます。



7. ペグを使って、境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを正しい位置に置きます。
8. チャージステーションを電源に接続します。

3.9 本製品設置後の点検

3.9.1 チャージステーションを目視点検する方法

1. チャージステーションの LED インジケータランプが緑色に点灯していることを確認します。
2. LED インジケータランプが緑色に点灯していない場合は、設置状態を確認します。チャージステーションの LED インジケータランプ 47 ページおよびチャージステーションを設置する方法 18 ページを参照してください。

3.9.2 基本設定を行うには

本製品の電源を初めて入れるときには、製品の動作を開始する前に、いくつかの基本設定を行う必要があります。製品とチャージステーションのペアリングや、GeoFence での盗難防止機能の有効化などです。ジオフェンス 30 ページを参照してください。設定を変更したり本製品を操作したりするには、Automower® Connect アプリとのペアリングが必要です。Automower® Connect 21 ページを参照してください。

1. 本製品のスイッチをオンにします。

注記： Bluetooth® ペアリングモードは 3 分間有効です。この時間内にペアリングが成功しなかった場合は、本製品の電源をオフにします。LED インジケータランプが消えるまで待ってから、本製品のスイッチをオンにします。

2. 工場 PIN コードを入力します。
3. Husqvarna アプリで Automower® Connect アカウントにログインします。
4. ご使用のモバイルデバイスで、Bluetooth® を起動します。
5. Automower® Connect アプリで *My mowers*（登録した芝刈機）を選択してから、プラス記号（+）を選択します。

6. 機種を選択します。Automower® Connect アプリは、短距離接続（Bluetooth®）範囲内で使用可能な製品を検索します。
7. 製品を選択します。
8. Automower® Connect アプリの指示に従ってください。

注記： Automower® Connect アプリと製品をペアリングする必要があるのは 1 回だけです。

注記： Automower® Connect アプリの接続を解除するには、アプリを完全に終了する必要があります。

3.10 Automower® Connect

このアプリには、次の 2 つの接続モードがあります。長距離携帯電波接続と短距離 Bluetooth® 接続です。

本製品は、Automower® Connect アプリがインストールされているモバイルデバイスに接続することができます。Automower® Connect は、モバイルデバイス用の無料アプリです。Automower® Connect アプリは、お持ちの Husqvarna 製品に拡張機能を提供します。次のことができます。

- 製品のステータスを確認する。
- 製品の設定を変更する。
- 拡張製品情報を取得する。
- 本製品が作業エリア外に出た場合にアラームを受信する。
- お使いの製品の統計情報を表示します。

注記： 地域により、使用されている携帯電波システムが異なるため、Automower® Connect がサポートされていない国もあります。付帯の Automower® Connect ライフタイムサービスは、作業エリアにサードパーティの 2G/3G/4G のサブサプライヤーが存在する場合にのみ適用されます。

設置する製品が 1 台～数台の場合は、Automower® Connect アプリが適しています。製品を多数使用する場合は、Husqvarna Fleet Services™ をお勧めします。Husqvarna Fleet Services™ 30 ページを参照してください。

3.10.1 Automower® Connect アプリのインストール

1. Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Automower® Connect アプリで Husqvarna アカウントを登録します。
3. 登録されたメールアドレスにメールが送信されます。電子メールの手順に従って、24 時間以内にアカウントを認証します。

4. Automower® Connect アプリで Husqvarna アカウトにログインします。

3.10.2 Automower® Connect と本製品をペアリングする方法

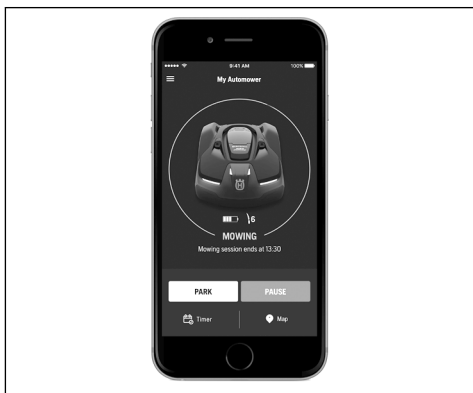
1. 基本設定を行うには 21 ページの手順 1~7 を実行します。
2. Automower® Connect アプリの指示に従ってください。

3.10.3 ダッシュボード

ダッシュボードには本製品の現在の状況が図とテキストで表示されます。たとえば、[Park (駐車)] などのオプションを選択することで、本製品を簡単に制御できます。

ダッシュボードの下部に、[Schedule settings (スケジュール設定)] と [Map (地図)] のショートカットがあります。ダッシュボードには、以下のルールで記号が表示されます。

1. バッテリーステータスはバッテリー残量を示しています。本製品のバッテリーを充電中の場合は、バッテリーマークにフラッシュが表示されます。本製品がチャージステーションにあるが充電中でない場合は、バッテリーマークにプラグが表示されます。
2. 刈高。



動作モード [START]、[Park (駐車)]、および [Pause (一時停止)] の詳細については、「Operation (操作) 32 ページ」を参照してください。

3.10.4 アカウト

このメニューにはアカウント設定の概要が表示されるほか、アプリからログオフできます。

3.10.4.1 単位の形式の設定

1. 単位の形式としてメートル法またはヤードポンド法を選択します。

3.10.5 登録芝刈機

[My mowers (登録した芝刈機)] を選択すると、アカウントにペアリングされている製品をすべて管理できます。また、新しい製品を追加することもできます。ペアリングされた製品が複数ある場合は、いずれか 1 台を [Current mower (現在の芝刈機)] として選択することができます。

新しい製品を Automower® Connect アプリにペアリングする方法：

1. プラス記号 (+) を選択します。
2. 機種を選択します。
3. Automower® Connect アプリの指示に従い、ペアリングを完了します。

3.10.6 Automower® Direct

Automower® Direct は短距離 Bluetooth® 通信を使用します。Automower® 520/550 に搭載されています。

Automower® Direct は、使用者が Automower® Connect アプリと PIN コードを持っているが、Husqvarna アカウトを作成していない場合に便利です。Automower® Direct は、製品との接続が一時的なものである場合にも便利です。

Husqvarna は、長距離携帯電波接続の持続時間、通信範囲のいずれも保証することはできません。本製品の近くにいる場合は、Bluetooth® で本製品と通信することが可能です。Automower® Direct は、Husqvarna アカウトがなくても、製品 PIN コードがあれば使用できます。

注記： Automower® Direct 接続は、Bluetooth® 範囲内でのみ有効です。Bluetooth® 範囲外に移動すると、Automower® Direct 接続が切断され、接続プロセスを再度実行する必要があります。

3.10.6.1 Automower® Direct の使い方

1. Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Automower® Connect アプリのスタート画面で、Automower® Direct を選択します。
3. ご使用のモバイルデバイスと本製品で、Bluetooth® を起動します。基本設定を行うには 21 ページを参照してください。
4. Automower® Connect アプリで、ペアリングする製品を選択してください。
5. その製品の PIN コードを入力します。

注記： Bluetooth® の短距離接続範囲内にいれば、これらのメニューや機能にアクセスできます。

3.10.7 マップ

地図には、本製品の現在の位置と、設定されたジオフェンスの中心点が表示されます。

3.10.7.1 地図の設定

1. メインメニューで *[Map (地図)]* を開きます。
2. 設定のマークを選択します。
3. *[Movement path (移動経路)]* の有効／無効を切り替えます。
4. *[GeoFence radius (ジオフェンス半径)]* の有効／無効を切り替えます。
5. *[Map view (地図ビュー)]* と *[Satellite view (衛星ビュー)]* のいずれかを選択します。

4 設定

本製品は工場出荷時に設定されていますが、設定は各作業エリアに合わせて変更できます。

4.1 スケジュール



[[Schedule (スケジュール)]] で、本製品のスケジュール設定を変更できます。

スケジュール機能は、本製品が動作する時間としない時間をコントロールするものです。本製品は、動作していないときにはチャージステーションに駐車しています。Automower® Connect アプリに運転時間と運転日数の概要が表示されます。

スケジュールのデフォルト設定では、本製品は毎日 24 時間休みなく動作します。通常、この設定は、製品の最大性能に相当する作業エリアに適しています。作業エリアが最大性能より小さい場合、スケジュール機能を使用して、芝の傷みや製品の摩耗を最小限に抑えるのが良いでしょう。

この表は、指定されたエリアの寸法に対して、本製品が毎日動作するべきおおよその時間を示しています。

Area (エリア)	Automower® 520	Automower® 550
500 m ² /0.12 エーカー	7	3.5
1000 m ² /0.25 エーカー	14	7
1500 m ² /0.37 エーカー	22	10.5
2000 m ² /0.5 エーカー		14
2500 m ² /0.62 エーカー		17.5
3000 m ² /0.75 エーカー		21
3500 m ² /0.86 エーカー		24

次の 3 種類の品質レベルを選択し、芝刈り頻度を決めることができます：

- プロスポーツのクオリティ：プレミアムスポーツのフィールドやゴルフコースなど、毎日刈高を低く刈り込む場所に使用します。手入れの行き届いた、緑豊かな密度の高い芝生に最適です。

- プロのクオリティ：一般的なスポーツフィールドやゴルフコースに使用されます。芝の高さは中程度、密度は普通で芝の質に対する要求が高い施設にも使用されます。
- 標準品質：要求の低い緑地に使用します。つまり、芝があまり伸びず、刈高が高く、芝の密度が普通から低いエリアです。

品質	動作頻度
プロスポーツのクオリティ	毎日
プロのクオリティ	2 日に 1 回
標準品質	3 日に 1 回

4.1.1 スケジュール設定の編集

- アプリで [[Settings (設定)]] > [[Security (セキュリティ)]] > [[Edit (編集)]] を選択します。
- アプリで鉛筆のアイコンを選択します。
- 本製品が動作する曜日と時間を選択します。
- [[Save (保存)]] を選択します。

4.1.2 新しいスケジュール設定の追加

- アプリで [[Settings (設定)]] > [[Security (セキュリティ)]] > [[Edit (編集)]] を選択します。
- アプリでプラス記号 (+) を選択します。
- 本製品が動作する曜日と時間を選択します。
- [[Save (保存)]] を選択します。

4.2 刈高



4.2.1 刈高の調整

刈高は、2 cm/0.8 インチから 6 cm/2.5 インチまで調整できます。



注意： 新規設置後の最初の数週間は、ローブワイヤーを損傷しないように、刈高を 6 cm/2.5 インチに設定する必要があります。その後、毎週刈高を下げるができます。

4.2.1.1 Automower® Connect で刈高を調整する方法

刈高は MIN (最小) から MAX (最大) まで調整することができます。

1. [Settings (設定)] > [Cutting height (刈高)] を選択します。
2. 水平バーを動かして刈高を設定します。
3. [Save (保存)] を選択します。

4.2.1.2 TargetHeight

TargetHeight 機能を使用すると、10 日間の間に、刈高が最高値から指定された刈高に徐々に下がります。この期間中に手動で刈高を変更すると、TargetHeight 機能が無効化されます。

TargetHeight の設定

1. [Settings (設定)] > [Cutting height (刈高)] を選択します。
2. [ON/OFF] を選択して、TargetHeight 機能を有効または無効にします。
3. [Save (保存)] を選択します。

4.3 操作

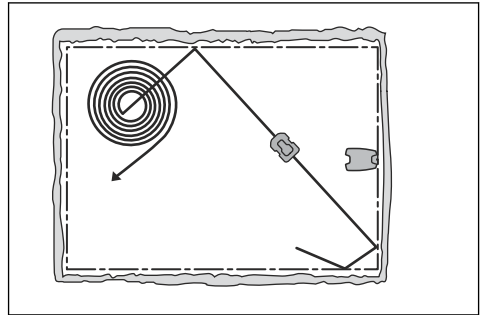


操作メニューで、[Weather timer (天候タイマー)]、[ECO mode (ECO モード)]、および [Spiral cutting (スパイラルカット)] の設定を変更することができます。

4.3.1 Spiral cutting (スパイラルカット)

移動したエリアで芝が平均より長いと検知された際に、本製品の移動パターンをスパイラルカットに変えることができます。これにより、本製品は、スパイラルパターンで長い芝を素早く刈り込むことができます。スパイラルカットの強度を設定できます。強度を [Very low (最低)] / [Low (低)] にすると、スパイラルカットを行う頻度が低下します。強度を [High (高)] / [Very high (最高)] にすると、スパイラルカットを行う頻度が増加します。

注記： スパイラルカットは、メインエリアモードでのみ開始されます。カンダリエリアモードでの芝刈りでは、本製品はスパイラルカットを開始しません。勾配が 15 % を超える斜面では、スパイラルカットは開始されません。



1. アプリで [Settings (設定)] > [Operation (動作)] を選択します。
2. [ON/OFF] を選択して、スパイラルカットを有効または無効にします。
3. [Settings (設定)] > [Spiral Cutting (スパイラルカット)] > [Use (使用)] > [Intensity (強度)] を選択して、機能のレベルを選択します。
4. [Save (保存)] を選択します。

4.3.2 天候タイマー

天候タイマーにより、芝の成長具合に合わせて芝刈り時間が自動的に調整されます。本製品は、スケジュール設定より長く運転することはできません。

注記： 天候タイマーを使用する場合、天候タイマーの運転時間をできる限り長くすることをお勧めします。必要以上にスケジュールを制限しないでください。

1 日の最初の動作は、スケジュール設定で設定します。本製品は、常に 1 回の芝刈りサイクルを完了してから、引き続き動作するかどうか为天候タイマーにより決定されます。

注記： 製品が 50 時間以上動作を停止した場合、またはすべてのユーザー設定がリセットされた場合は、天候タイマーがリセットされます。スケジュール設定のリセットが行われても、天候タイマーは変更されません。

4.3.2.1 天候タイマーの設定

1. アプリで [Settings (設定)] > [Operation (動作)] を選択します。
2. [ON/OFF] を選択して、天候タイマーを有効または無効にします。

注記： 芝刈り結果が適切でない場合は、芝刈り時間を調整できます。芝刈り時間を長くするには [High (高)]、短くするには [Low (低)] に設定します。

3. [Save (保存)] を選択します。

4.3.3 ECO モード

[ECO mode (ECO モード)] では、本製品の駐車中や充電中に、境界ワイヤー、ガイドワイヤー、チャージステーションの信号が無効になります。ループ信号が無効になっている場合、チャージステーションの LED インジケータは緑色に点滅します。

注記： [ECO mode (ECO モード)] は、電力を節約し、ヒアリングループやガレージドアなど、他の機器との干渉を防止するために使用します。

注記： 作業エリア内で本製品を手動で始動するには、最初にループ信号を有効にする必要があります。

4.3.3.1 ECO モードの設定

1. アプリで [Settings (設定)] > [Operation (動作)] を選択します。
2. [ON/OFF] を選択して、ECO モード機能を有効または無効にします。
3. [Save (保存)] を選択します。

4.4 設置



設置メニューでは、最適な芝刈り結果を得られるように製品の設定を調整できます。

4.4.1 チャージステーションの探索

本製品は、3 種類の方法でチャージステーションを探すよう設定できます。

- チャージステーションの信号
- 境界ワイヤーに沿う
- ガイドワイヤーに沿う

工場出荷時には、この 3 つの検索方法を同時に使用するように設定されています。工場出荷時の設定を使用した場合、可能な限り早くチャージステーションを見つけることができますとともに、芝生の上にわだちができるリスクが最小限になります。本製品は常にチャージステーションの信号の検索から開始します。指定された間隔の後には、ガイドに沿うと境界ワイヤーに沿うも使用します。

本製品がワイヤーに追従できない原因は次のとおりです。

- ワイヤーの近くの障害物が隔離されていない。
- チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーがチャージステーションを設置する方法 18 ページ、境界ワイヤーを取り付ける方法 19 ページ、ガイドワイヤーを取り付ける方法 19 ページの指示に従って設置されていない。

4.4.1.1 チャージステーションの信号範囲を変更するには

設置場所によっては、チャージステーションの信号強度を下げる必要があります。たとえば、チャージステーションを低木や壁などの障害物の近くに設置し、信号が障害物の反対側に届く場合などです。本製品は、チャージステーションが近くにあることを検知しており、ドッキングを試みますが、障害物によってドッキングが妨げられます。オプションは、[min (最小)]、[avg (平均)]、[max (最大)] です。

注記： 推奨される設定は max (最大) です。通常、チャージステーションの信号到達範囲を狭めるよりも、チャージステーションを移動する方が良い方法です。

1. アプリで、[Settings (設定)] > [Installation (設置)] > [Find charging station (チャージステーション探索)] の順に選択します。
2. 信号範囲を選択します。
3. [Save (保存)] を選択します。

4.4.1.2 ガイドワイヤーと境界ワイヤーの遅延時間の設定

1. アプリで、[Settings (設定)] > [Installation (設置)] > [Find charging station (チャージステーション探索)] の順に選択します。
2. [ON/OFF] を選択して、ワイヤーの追従を有効または無効にします。
3. 水平バーを動かして、遅延時間を設定します。
4. [Save (保存)] を選択します。

4.4.2 芝生範囲

本製品に搭載された GPS アシストナビゲーションは、運転の最適化に役立ちます。

[Lawn coverage (芝生範囲)] 機能を使用して、設定を手動にします。

4.4.2.1 GPS 機能の設定

1. アプリで、[Installation (インストール)] > [Settings (設定)] > [Lawn coverage (芝生範囲)] の順に選択します。
2. [ON/OFF] を選択して、GPS 機能を無効または有効にします。

注記： GPS アシストナビゲーションを有効化すると、GPS サービスがある場合にナビゲーションが使用されます。手動設定した場合も、GPS アシストナビゲーションが使用されます。GPS サービスを使用できない場合のみ、手動設定が使用されます。

3. [Save (保存)] を選択します。

4.4.2.2 芝生範囲機能の設定

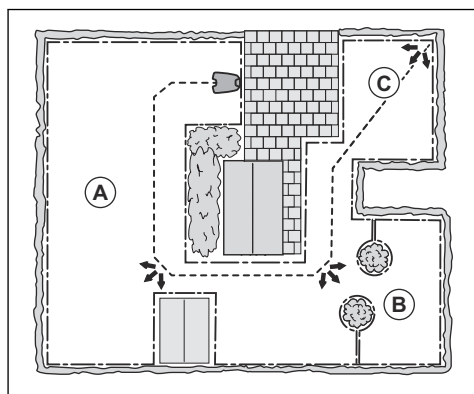
〔Lawn coverage (芝生範囲)〕機能は、本製品を作業エリア内の離れた部分 (リモートエリア) にガイドするために使用します。作業エリアに狭い通路でつながっている遠隔部がある場合は、〔Lawn coverage (芝生範囲)〕機能を使用すると、庭のすべての部分の芝を適切に刈り整えるのに便利です。本製品が芝刈りをスタートする遠隔エリアを最大 5 つまで設定できます。

〔Lawn Coverage (芝生範囲)〕機能を使用すると、本製品はまずガイドワイヤーに沿って移動し、特定の距離に到達するとガイドワイヤーから離れて、芝刈りを開始します。

エリア A、約 50%

エリア B、約 30%

エリア C、約 20%



各エリアは、設定を入力しなくても無効化または有効化できます。

1. アプリで、〔Settings (設定)〕 > 〔Installation (設置)〕 > 〔Lawn coverage (芝生範囲)〕の順に選択します。
2. 〔ON/OFF〕を選択して GPS 機能を無効化し、〔Lawn Coverage (芝生範囲)〕を設定します。
3. 〔Area 1-5 (エリア 1~5)〕の ON/OFF を切り替えて、エリアを有効にします。
4. 水平バーを動かして、本製品をどのワイヤーに追従させるかを設定します。本製品は、〔Boundary wire left (境界ワイヤー左)〕、〔Boundary wire right (境界ワイヤー右)〕、またはいずれかのガイドワイヤーに追従させることができます。
5. 水平バーを動かして、本製品がワイヤーに追従する距離を設定します。その後、本製品はワイヤーから離れ、芝刈りが始まります。チャージステーションからの距離を測定するには 27 ページを参照してください。
6. 水平バーを動かして、本製品が各エリアに行く頻度を設定します。それ以外の場合はすべて、チャージ

ステーションの近くで芝刈りを開始します。パーセンテージは、作業エリア全体に対する面積のパーセンテージに等しくなります。

- a) エリアを測定します。
- b) 測定したエリアの面積を作業エリア全体の面積で割ります。
- c) 結果をパーセントに変換します。
- d) 水平バーを動かして、チャージステーションからの距離を設定します。

7. 〔Save (保存)〕を選択します。

デフォルト設定では、本製品はチャージステーションを離れる回数のうち 300 の割合でガイドワイヤーに 980 m / 20% フィート追従します。ガイドワイヤーが 300 m / 980 フィートより短い場合、本製品は、ガイドワイヤーと境界ワイヤーが接続する地点までワイヤーに沿って進みます。

4.4.2.3 チャージステーションからの距離を測定するには

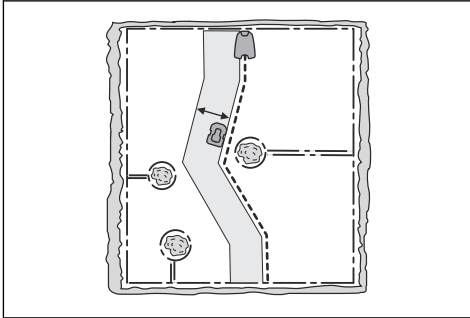
1. 本製品をチャージステーションに入れます。
2. アプリで、〔Settings (設定)〕 > 〔Installation (設置)〕 > 〔Lawn coverage (芝生範囲)〕の順に選択します。
3. 水平バーを動かして、チャージステーションまでの距離を最大に設定します。
4. 〔Test: Area 1-5 setup (テスト: エリア 1~5 設定)〕を選択します。
5. アプリの指示に従い、テストを開始します。
6. 本製品が測定対象として選択した距離に達したら、〔STOP〕ボタンを押します。距離がアプリに表示されます。

4.4.2.4 芝生範囲機能の点検

1. 本製品をチャージステーションに入れます。
2. アプリで、〔Settings (設定)〕 > 〔Installation (設置)〕 > 〔Lawn coverage (芝生範囲)〕の順に選択します。
3. 〔Test: Area 1-5 setup (テスト: エリア 1~5 設定)〕を選択します。
4. アプリの指示に従い、テストを開始します。
5. 本製品はこのエリアのスタート地点に向かいます。

4.4.3 経路幅

境界ワイヤー経路は境界ワイヤーに隣接するエリアで、ガイド経路はガイドワイヤーに隣接するエリアです。本製品は経路を使用してチャージステーションを見つけます。本製品がチャージステーションの方向に移動する場合は、必ずガイドワイヤーの左側に移動します。



経路幅は自動的に調整されます。場合により、手動設定を入力する必要があります。走路幅は0～9の間で設定できます。ガイドの経路幅が0に設定されている場合、本製品はガイドワイヤーをまたぎます。工場設定では、境界ワイヤーは6、ガイドワイヤーは9です。

4.4.3.1 経路幅を設定するには

1. アプリで、[Settings (設定)] > [Installation (設置)] > [Corridor width (経路幅)] の順に選択します。
2. 水平バーを動かして幅を設定します。
3. [Save (保存)] を選択します。

注記： 芝生にわだちができる可能性を最小限に抑えるために、経路幅はできるだけ広くしてください。

4.4.4 出口角度

工場出荷設定では、本製品は出口セクターの方向に90°～270°の範囲でチャージステーションから離れます。本製品が作業エリアに容易に到達できるように、出口角度を変更します。たとえば、チャージステーションを経路に配置する場合、70°～110°および250°～290°の2つの出口角度を使用できます。2つの出口角度を設定する場合は、本製品がセクター1のチャージステーションを離れる頻度も設定する必要があります。[Proportion (比率)] 機能を使用して、製品が各セクターを使用する頻度を設定します。たとえば75%に設定した場合は、本製品がチャージステーションからセクター1を出る回数が全体の75%で、セクター2を出る回数は全体の25%であることを意味します。

4.4.4.1 出口角度の設定

1. アプリで、[Settings (設定)] > [Installation (設置)] > [Exit angles (出口角度)] の順に選択します。
2. 水平バーを動かしてセクターの角度を度単位で指定して、パーセントで比率を指定します。
3. [Save (保存)] を選択します。

4.4.5 後退距離

後退距離を設定すると、本製品は、設定した距離だけ後退してから芝刈りを開始します。

4.4.5.1 後退距離の設定方法

1. アプリで、[Settings (設定)] > [Installation (設置)] > [Reversing distance (後退距離)] の順に選択します。
2. 水平バーを動かして距離を設定します。
3. [Save (保存)] を選択します。

4.4.6 ワイヤー通過運転

本製品のフロント部は常に、境界ワイヤーとの間に指定されている距離を保って移動し、その距離まで近づくと、作業エリア内へ戻っていきます。[Drive past wire (ワイヤーを通過)] 機能の工場出荷時設定は31 cm/12 インチです。20-50 cm/8-20 インチの範囲で距離を選択できます。

注記： 工場出荷時の設定では、本製品はワイヤーを通過して11 cm/4 インチ刈ります。

注記： [Drive Past Wire (ワイヤーを通過)] の距離が変更されると、作業エリア内にあるすべての境界ワイヤーについて距離が変更されます。

4.4.6.1 ワイヤー通過運転の設定

1. アプリで、[Settings (設定)] > [Installation (設置)] > [Drive past wire (ワイヤーを通過)] の順に選択します。
2. 水平バーを動かして距離を設定します。
3. [Save (保存)] を選択します。

4.5 アクセサリー



本製品に取り付けられているアクセサリの設定は、このメニューで行うことができます。

4.5.1 Automower® ハウスとの衝突の回避

このオプションが有効になっている場合は、本製品とAutomower®ハウスの摩擦が減りますが、チャージステーション周囲で芝を刈り取らない部分が広くなります。

1. アプリで、[Settings (設定)] > [Accessories (アクセサリ)] > [Mower house (芝刈機ハウス)] の順に選択します。
2. [ON/OFF] を選択して、機能を有効または無効にします。
3. [Save (保存)] を選択します。

4.5.2 超音波の設定

1. アプリで、[Settings (設定)] > [Accessories (アクセサリ)] > [Ultrasonic (超音波センサー)] の順に選択します。
2. [ON/OFF] を選択して、機能を有効または無効にします。
3. [Save (保存)] を選択します。

4.6 全般 (Bluetooth® のみ)



この機能は、日時を設定したり、デフォルトの設定にリセットしたりするために使用します。

4.6.1 Time & date (時刻 & 日付)

時刻と日付は手動で変更することも、モバイルデバイスの時刻と日付を使用して変更することもできます。

4.6.1.1 日付と時刻の設定

1. アプリで、[Settings (設定)] > [General (一般)] > [Time & Date (時刻 & 日付)] の順に選択します。
2. [Time & Date from phone (携帯の日付と時刻)] を選択するか、鉛筆アイコンを選択して正しい日時を入力します。
3. [Save (保存)] を選択します。

4.6.2 工場設定へのリセット

ユーザー設定は、リセットして工場出荷時の設定に戻すことができます。

注記： PIN コード、ループ信号、メッセージ、および日付と時刻はリセットされません。

4.6.2.1 工場設定へのリセット方法

1. アプリで、[Settings (設定)] > [General (一般)] > [Reset (リセット)] の順番に選択します。
2. [Reset to factory settings (工場設定へのリセット)] を選択します。

4.7 セキュリティ



セキュリティ設定で、PIN コード、GeoFence、その他のセキュリティ機能を制御します。[Security (セキュリティ)] メニューにアクセスするには、正しい PIN コードを入力する必要があります。

このメニューは、モバイルデバイスが Bluetooth® で製品に接続されている場合にのみ使用できます。

4.7.1 新規ループ信号

本製品とチャージステーションの間で一意のリンクを作成するため、ループ信号がランダムに選択されます。ごくまれに、隣接する 2 つの装置で非常に類似した信号を使用している場合など、新しい信号を生成することが必要になる場合があります。

4.7.1.1 新規ループ信号の生成

1. 本製品をチャージステーションに入れます。
2. アプリで [Security (セキュリティ)] > [New loop signal (新規ループ信号)] > [Create new loop signal (新規ループ信号作成)] を選択します。
3. [Save (保存)] を選択します。
4. ループ信号が生成されたことを確認するメッセージを待ちます。通常、これには約 10 秒かかります。

4.7.2 PIN コードの変更

1. アプリで、[Security (セキュリティ)] > [Change PIN code (PIN コード変更)] の順に選択します。
2. PIN コードを入力します。
3. 新しい PIN コードを入力します。
4. 確認用に新しい PIN コードを入力します。
5. 新しい PIN コードをメモに記録します。はじめに 6 ページを参照してください。

4.7.3 盗難防止

[Theft protection (盗難防止)] メニューで、アラーム持続時間およびアラームをトリガーするイベントを設定することができます。工場出荷時の設定では PIN コードが必要で、アラームの持続時間は 1 分です。

4.7.3.1 時間ロック

時間ロックは 1~100 日の間で設定できます。工場出荷時の設定は 30 日です。選択した日数が経過すると、本製品は通常どおりに動作します。新しい設定を入力するには、PIN コードを入力する必要があります。

4.7.3.2 PIN コードを要求

これは、[STOP (ストップ)] ボタンを押した後は、正しい PIN コードを入力しないと、本製品を操作したり制御したりできなくなるという機能です。間違った PIN コードを連続して 5 回入力すると、本製品は一時的にロックされます。新しく不正な試行が行われるたびに、ロック時間が延長されます。

4.7.3.3 アラーム持続時間

アラーム信号を持続させる時間を設定できる場合があります。1 分から 10 分の間で設定できます。

4.7.3.4 ストップボタン押下状態

アラーム「STOP button pressed (ストップボタン押下状態)」が有効になっている場合は、誰かが [STOP (ス

トップ]] ボタンを押し、その後 30 秒以内に PIN コードが入力されないと、このアラームが出されます。

4.7.3.5 持ち去り

アラーム「Carried away (持ち去り)」が有効になっている場合に本製品が想定外の動きを感知すると、このアラームが出されます。

4.7.3.6 盗難防止の設定

1. アプリで、[Settings (設定)] > [Security (セキュリティ)] > [Theft protection (盗難防止)] の順番に選択します。
2. [ON/OFF] ボタンを選択して、[Time lock (時間ロック)] [Require PIN code (PIN コード必須)]、[STOP button pressed (STOP ボタン押下状態)]、および [Carried away (持ち運び)] を有効または無効にします。
3. 水平バーを動かして、アラームの持続時間を選択します。

4.7.4 ジオフェンス

ジオフェンスは、本製品のための仮想フェンスを作る、GPS ベースの盗難防止機能です。本製品が中心位置から離れている場合、本製品は無効化され、アラームが作動します。アラームを無効にして本製品を再起動するには、PIN コードが必要です。

4.7.4.1 ジオフェンス機能の中心位置と半径の設定

1. アプリで、[Settings (設定)] > [Security (セキュリティ)] > [GeoFence (ジオフェンス)] の順番に選択します。
2. 本製品を作業エリアの中心位置に置きます。
3. [ON/OFF] ボタンを選択して、ジオフェンス機能を有効または無効にします。中心位置は、本製品の現在の位置に設定されます。
4. 水平バーで半径を設定します。

4.8 Automower® Connect (Bluetooth® のみ)



Automower® Connect では、Automower® Connect モジュールを有効または無効にできます。また、信号強度や接続ステータスの確認、新しいペアリングの開始、ペアリングされたアカウントからの本製品の削除を行うこともできます。

4.9 メッセージ (Bluetooth® のみ)

このメニューでは、過去の障害および情報メッセージを表示できます。一部のメッセージでは、障害の是正に役立つヒントやアドバイスが表示されます。

注記： [Messages (メッセージ)] メニューは、Bluetooth® 短距離接続時のみ使用できます。

何かに引っかかったりバッテリー残量が不足したりなど、何らかの理由で本製品に障害が発生した場合は、その障害についてのメッセージと発生時刻が保存されます。

同じメッセージが数回繰り返された場合は、設置場所または本製品に対する調整が必要であるかもしれません。
Installation (設置) 13 ページを参照してください。

4.10 Husqvarna Fleet Services™

Husqvarna Fleet Services™ は、業務用管理者にすべての製品の概要を提供するクラウドソリューションです。業務用管理者は、すべての製品をリモートで制御することもできます。Husqvarna Fleet Services™ は、Automower® 520/550 に付属します。Husqvarna Fleet Services™ について詳しくは、www.husqvarna.com を参照してください。

4.10.1 本製品と Husqvarna Fleet Services™ の接続方法

1. Husqvarna Fleet Services™ アプリと Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Husqvarna Fleet Services™ アカウントを作成します (www.husqvarna.com)。
3. Husqvarna Fleet Services™ アプリにログインします。
4. 本製品のメインスイッチを [1] の位置にセットします。

注記： 本製品の Bluetooth® ペアリング操作モードが 3 分間有効になります。本製品とモバイルデバイスのペアリング操作が 3 分以内に完了しない場合は、本製品を OFF にした後、ON にしてください。

5. Husqvarna Fleet Services™ アプリでプラス記号 (+) を選択します。
6. Automower® を選択してから、Automower® Pro を選択します。Husqvarna Fleet Services™ アプリは、近く (Bluetooth®) にある接続可能な製品を検索します。
7. 本製品を選択します。
8. [Acquire pairing code (ペアリングコードの取得)] を選択して、本製品を Husqvarna Fleet Services™ アカウントと接続します。
9. Husqvarna Fleet Services™ アプリの指示に従ってください。

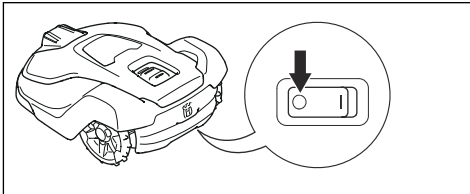
注記： Husqvarna Fleet Services™ アプリと本製品の
ペアリング操作は 1 回だけが必要です。

5 Operation (操作)

5.1 メインスイッチ



警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



- 本製品を始動するには、**メインスイッチ**を [1] の位置にセットします。
- 本製品を OFF するには、**メインスイッチ**を [0] の位置にセットします。

5.2 開始

1. **メインスイッチ**を [1] の位置にセットします。
2. Automower® Connect アプリを開きます。
3. [Dashboard (ダッシュボード)] を選択します。
4. Automower® Connect アプリで [START] を選択します。

本製品をチャージステーションに駐車した場合、バッテリーが完全に充電され、[Schedule (スケジュール)] で本製品が動作するように設定されている場合のみ、本製品はチャージステーションから移動します。

注記： 本製品上部の [START] ボタンが、正しい位置になっていることを確認します。[STOP] ボタンが有効になっている場合、本製品は始動しません。



5.3 動作モード - START

[START] ボタンを選択すると、以下の動作が選択できます。

- Main area (メインエリア)
- Override schedule (スケジュールのオーバーライド)
- Secondary area (セカンダリエリア)

5.3.1 メインエリア

[Main area (メインエリア)] は、本製品が芝刈りと充電を自動的に行う、標準の運転モードです。

1. Automower® Connect アプリを開きます。
2. メインメニューで [Dashboard (ダッシュボード)] を選択します。
3. [Start (スタート)] を選択します。
4. [Resume on main area (メインエリアで再開)] を選択して、本製品を始動します。

5.3.2 Override schedule (スケジュールのオーバーライド)

[Override schedule (スケジュールのオーバーライド)] を選択すると、いつでも一時的にスケジュール設定をオーバーライドできます。

1. メインメニューで [Dashboard (ダッシュボード)] を選択します。
2. [START] を選択します。
3. [Override schedule (スケジュールのオーバーライド)] の水平バーをスライドさせ、適切なオーバーライド期間にします。最大 7 日間、スケジュールをオーバーライドできます。
4. 任意のオーバーライド期間を選択します。

5.3.3 セカンダリエリア

セカンダリエリアの芝刈りをするには、動作モード **Secondary area** (セカンダリエリア) を選択する必要があります。このモードでは、使用者が、メインエリアとセカンダリエリアの間を手動で本製品を移動させる必要があります。選択した期間、またはバッテリーが空になるまで、本製品は芝刈りを行います。バッテリーの残量がなくなると、本製品は停止します。本製品をチャージステーションに入れて、バッテリーを充電します。バッテリーが充電されると、本製品はチャージステーションから移動して停止します。本製品の作動準備は整いましたが、作動前に使用者が確認する必要があります。

注記： バッテリーの充電後にメインエリアの芝を刈るには、本製品をチャージステーションに置く前に、**Main area** (メインエリア) モードに設定します。

5.4 動作モード - Park (駐車)

[Park (駐車)] を選択すると、以下の動作を選択できます。

- Park until further notice (さらなる通知があるまで駐車)
- Start with schedule (スケジュールで開始)
- Parking duration (駐車時間)

5.4.1 Park until further notice (さらなる通知があるまで駐車)

動作モード **Park** (駐車) では、新しい動作モードが選択されて **START** ボタンが押されるまで、本製品はチャージステーションに留まります。

5.4.2 スケジュールで開始

本製品はチャージステーションに戻り、次のスケジュール設定で本製品の動作が許可されるまで留まります。この動作選択を使用することで、散水や芝生での試合などの場合に、動作を一時的に停止できます。

5.4.3 駐車時間

本製品はチャージステーションに戻り、選択した駐車時間の間留まります。この動作選択を使用することで、進行中の芝刈りサイクルを一時的に停止し、本製品をチャージステーションに駐車させることができます。

5.4.4 チャージステーションの駐車ボタン

チャージステーションの **[PARK (駐車)]** ボタンは、本製品をチャージステーションに呼び戻すために使用します。Automower® Connect アプリの **[Park (駐車)]** も同じ機能です。チャージステーションの **[PARK (駐車)]** ボタンは、本製品の作業エリアが広く、使用者が Automower® Connect アプリにアクセスできない場合などに役に立ちます。

[PARK (駐車)] ボタンを押すと、ボタンの LED が点灯します。本製品がチャージステーションに駐車すると、LED ダイオードが消灯します。

本製品は、Automower® Connect アプリで **[START]** を選択するまで、チャージステーションに留まります。

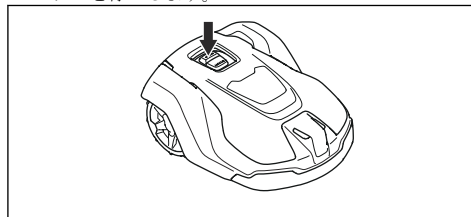


5.4.5 操作モード - 一時停止

Automower® Connect アプリで **[Pause (一時停止)]** を選択すると、本製品は現在の動作をやめて、一時停止します。本製品の一時停止を解除するには、Automower® Connect アプリで **[Park (駐車)]** または **[Start (スタート)]** を選択します。

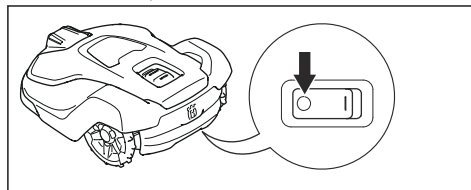
5.5 本製品の停止方法

1. **STOP** ボタンを押して本製品とカッティングモーターを停止します。



5.6 本製品をオフにする

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **メインスイッチ** を **[0]** の位置にセットします。



5.7 バッテリーの充電

本製品が新品の場合や長期間保管した後は、バッテリーが空になることがあります。本製品を始動する前に、バッテリーを充電してください。

1. **メインスイッチ**を [1] の位置にセットします。
2. チャージプレートが接点プレートに接触するまで、本製品をチャージステーションにはめ込みます。
3. **Automower® Connect** アプリで本製品が充電されていることを確認します。

6 メンテナンス

6.1 はじめに - メンテナンス



警告： 製品のメンテナンスを行う場合は本製品を OFF に設定します。



警告： 保護グローブを着用してください。

本製品の動作を改善し、耐用年数を延長するために、定期的に清掃し、摩耗した部品を交換してください。

本製品が新品の場合は、ブレードディスクとブレードを毎週点検してください。摩耗が少ない場合は、次回ブレードディスクとブレードを点検する間隔を長くすることができます。ブレードディスクとブレードに摩耗が多い場合は、より頻繁に定期点検を行ってください。

ブレードディスクが容易に回転し、ブレード端部が損傷していないことが重要です。ブレードの通常の寿命は 2 ～ 5 週間です。以下の条件により、ブレードの寿命が長く、あるいは短くなります。

- ・ 作動時間および作業エリアの寸法。
- ・ 芝の長さおよび厚さ。
- ・ 土壌、砂、および肥料の使用。
- ・ 作業エリアの球果、ツール、石、根などの物体。

注記： ブレードの切れ味が悪い場合、芝刈りの結果が不十分になる可能性があります。ブレードの交換方法については、**ブレードの交換 37** ページを参照してください。

6.2 メンテナンスのスケジュール

メンテナンスのスケジュールには、本製品のサービスとメンテナンスの方法が記載されています。より良い動作のため、また製品寿命を延ばすために、メンテナンスのスケジュールに従ってください。

X = この取扱説明書に説明があります。

O = この取扱説明書には説明がありません。認定サービス代理店にご連絡ください。

準備	毎週	1 年に 1 回	3 年に 1 回
製品を清掃します。参照： 製品の清掃 36 ページ。	X		
本製品に損傷や摩耗がないことを確認します。	X		
ファームウェアのアップデートを行います。		O	
推奨される更新があるか、サービスメッセージを確認します。		O	
サービス			
ブレードを点検し、必要に応じてブレードとブレードのネジを交換します。参照： ブレードの交換 37 ページ。	X		
チャージステーションの接点プレートを点検して研磨します。		X	
本製品のチャージプレートを点検して研磨します。		X	
本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。参照： バッテリーの充電 34 ページ。		X	
ホイールに磨耗がないか点検します。		O	
衝突ショックアブソーバーを点検して清掃します。フロント/リヤ衝突ショックアブソーバーの締付トルクを点検します。		O	
本製品が正しく取り付けられて、充電されていることを確認します。		O	
本製品の本体のチャージプレートのケーブルおよびコネクタを確認します。		O	

準備	毎週	1年に1回	3年に1回
シャーシのラバークロメットを点検して、正しく密封されていることを確認します。		○	
スキッドプレートとスキッドプレートのベアリングを点検します。		○	
刈高調整システムのラバー製蛇腹を点検します。		○	
衝突ショックアブソーバーのラバー製蛇腹を点検します。		○	
衝突ショックアブソーバーのラバー製蛇腹を交換します。			○
エアフローフィルターを点検して清掃します。		○	
エアフローフィルターを交換します。			○
シャーシのネジの締付トルクを確認します。		○	
シャーシを開き、シールストリップをすべて交換します。			○
最後のステップ			
ソフトウェアサービスツールを使用して、本製品の機能テストを行います。		○	

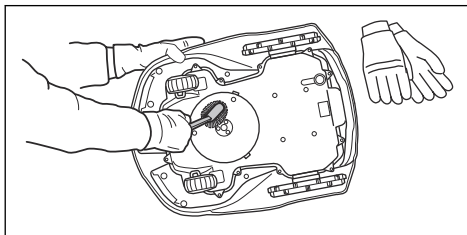
6.3 製品の清掃

本製品を清潔に保つことは重要です。本製品に大量の芝が詰まると、斜面を上ることができなくなります。ブラシを使用して清掃することをお勧めします。

Husqvarna は、別売りの特別なクリーニングおよびメンテナンスキットの使用をお勧めします。詳細な情報については、最寄りの Husqvarna 販売店までお問い合わせください。



注意： 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。清掃には決して溶剤を使用しないでください。



6.3.2 シャーシの清掃

- ブラシまたは湿らせた布でシャーシの下部を清掃します。

6.3.3 ホイールの清掃

本製品は、ホイールに草が詰まっていると斜面で十分に動作しません。

- ホイールの清掃には柔らかいブラシを使用してください。

6.3.4 本製品の本体の清掃

- 湿らせた布と石鹼液を使用して、本製品の本体を清掃します。

6.3.5 チャージステーションの清掃



警告： チャージステーションや電源装置のメンテナンスやクリーニングを行う場合は、電源装置をコンセントから外してください。



注意：チャージステーションは高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。

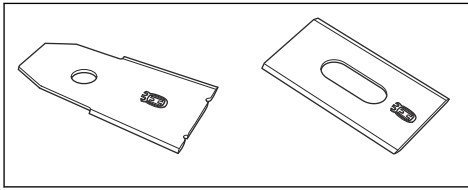
注記：チャージステーションの中に障害物があると本製品はチャージステーションの中に入れません。チャージステーションを定期的に清掃してください。

- 草や小枝などの異物をチャージステーションから取り除きます。

6.4 ブレードの交換



警告：Husqvarna は、王冠形の H マークが型押しされている Husqvarna の純正ブレードを使用する場合にのみ安全性を保証できます。

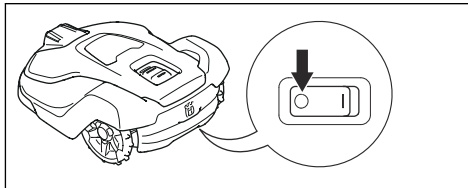


警告：ブレードを交換する場合は、ネジを交換する必要があります。使い古したネジはすぐに摩耗し、ブレードが緩むことがあります。これは、重傷の原因となる可能性があります。

安全な操作のため、磨耗または損傷したブレードは交換してください。十分な切断結果を確保しエネルギー使用量を低減するために、ブレードは定期的に交換してください。芝刈りシステムのバランスを取るため、5 枚のブレードとねじをすべて同時に交換する必要があります。

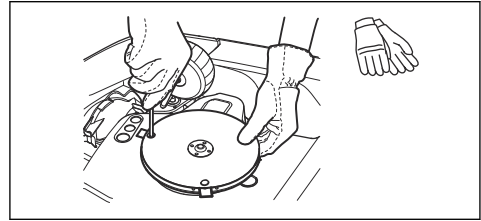
6.4.1 ブレードの交換

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **メインスイッチ**を [0] の位置にセットします。



3. ブレードディスクを上にして、柔らかくきれいな面に本製品を置きます。
4. ブレードのネジがスキッドプレート穴の位置に揃うまで、スキッドプレートを回します。

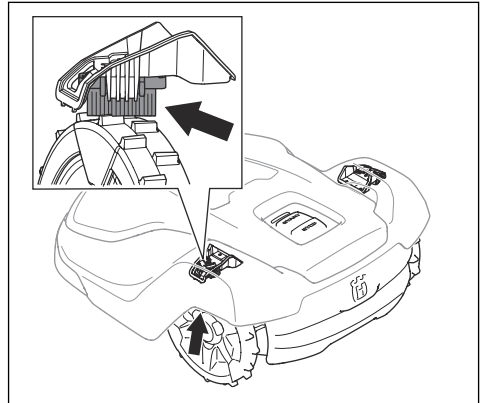
5. 5 本のネジをドライバーで外します。



6. 5 枚のブレードを外します。
7. 5 枚の新しいブレードとネジを取り付けます。
8. ブレードがスムーズに回転することを確認してください。

6.5 ホイールブラシの交換

本製品のホイールブラシは製品のホイールから草を取り除きます。定期的にホイールブラシを点検して、消耗した場合は交換してください。Husqvarna では 5~10 週間でホイールブラシを交換することをお勧めしています。



6.6 バッテリー



注意：本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。バッテリーが完全に充電されていないと、バッテリーが損傷するおそれがあります。

本製品の動作時間が通常の充電よりも短い場合、バッテリーの寿命が近づいていることを示しています。動作時間を長くするにはバッテリーを交換します。

注記： バッテリーの寿命は、稼働させる時期の長さや本製品を 1 日に稼働させる時間の長さに関連します。稼働させる時期が長い場合、または 1 日に稼働させる時間が長い場合は、バッテリーをより頻繁に交換する必要があります。

6.7 冬期の保守

冬期保管前に保守を行うため、ご使用の本製品をお近くの **Husqvarna** センtralサービスにお持ちください。

冬期保守を毎年行うことで、本製品を良好な状態に保ち、次のシーズンも、問題なく最高の状態で使用することができます。

保守には、通常以下の作業エリアが含まれます。

- 本体、シャーシ、ブレードディスクおよびその他のすべての可動部品の完全な掃除。
- 本製品の機能および部品のテスト。
- ブレードやベアリングなどの摩耗する品目の点検、および必要に応じた交換。
- 本製品のバッテリー容量のテストに、および必要な場合はバッテリー交換の推奨。
- 新しいファームウェアが入手可能な場合は、本製品のアップデート。

7 トラブルシューティング

7.1 はじめに - トラブルシューティング

メッセージはすべて、Automower® Connect の [Messages (メッセージ)] メニューで確認できます。不具合や問題が発生した際の対処方法の詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

注記： [Messages (メッセージ)] メニューは、短距離接続 (Bluetooth®) 時のみ使用できます。

7.2 故障メッセージ

次の表には、アプリに表示される不具合メッセージが記載されています。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Wheel motor blocked</i> (ホイールモーターがブロックされています)	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。
<i>Cutting system blocked</i> (カッティングシステムブロック)	草などの異物がブレードディスクに巻き付いています。	ブレードディスクを点検して、草などの異物を取り除いてください。
	ブレードディスクが水たまりに入っています。	本製品を移動して、作業エリアに水が溜まらないようにしてください。
<i>Cutting height blocked</i> (刈高ブロック)	草などの異物が刈高調整の周囲またはブレードディスクとシャーシの間に巻き付いています。	ブレードディスクや刈高調整の周囲のペローズを点検して、草などの異物が詰まっていれば取り除きます。
<i>Trapped</i> (走行不能)	本製品は、複数の障害物の奥の狭い範囲で動けなくなっています。	本製品をその場所から動けなくしている障害物があるかどうかを確認してください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>No loop signal</i> (ループ信号なし)	電源または低電圧ケーブルが接続されていません。	チャージステーションの LED ステータスを確認します。チャージステーションに電力が供給されていない場合、LED は点灯しません。電源との接続を点検し、漏電遮断器が接続されていることを確認します。低電圧ケーブルがチャージステーションに接続されていることを確認してください。
	電源または低電圧ケーブルが損傷しています。	電源または低電圧ケーブルを交換します。
	境界ワイヤーがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーコネクタがチャージステーションに正しく取り付けられているか点検してください。損傷がある場合、コネクタを交換してください。参照：境界ワイヤーを取り付ける方法 19 ページ。
	境界ワイヤーが損傷しています。	チャージステーションの LED ステータスを確認します。LED が境界ワイヤーの損傷を示している場合は、損傷箇所を確認してください。ループの損傷した部分を新品のループワイヤーに交換します。純正のカプラーを使用して、ループの両端を接合します。参照：ループワイヤーの損傷を発見 50 ページ。
	ECO モードが有効になっている状態で、本製品がチャージステーションの外で始動しようとしました。	本製品をチャージステーションに入れます。本製品を始動します。参照：開始 32 ページ。
	境界ワイヤーをアイランドとの間の経路で交差させています。	境界ワイヤーが正しく設置されていることを確認してください。参照：境界ワイヤーを取り付ける方法 19 ページ。
	本製品がチャージステーションのループ信号を検出できません。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。参照：新規ループ信号 29 ページ。
	付近にある金属の物体（フェンス、補強鋼材）や埋設ケーブルからの干渉があります。	境界ワイヤーを移動する、作業エリアのアイランドを増やすなどにより、信号強度を高めます。
<i>Wrong PIN code</i> (PIN コードの誤り)	本製品が境界ワイヤーから遠すぎます。	作業エリアのすべての部分が境界ワイヤーから 35 m/115 フィート以内になるように設置を修正してください。
	入力された PIN コードが間違っています。入力に 5 回失敗すると、本製品は一定時間ロックされます。	正しい PIN コードを入力してください。PIN コードを忘れた場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Outside working area</i> (作業エリア外です)	チャージステーションまでの境界ワイヤーの接続が交差しています。	境界ワイヤーがチャージステーションに正しく接続されているか点検してください。参照：境界ワイヤーを取り付ける方法 19 ページ。
	境界ワイヤーが作業エリアの端に近すぎます。	境界ワイヤーが正しく設置されていることを確認してください。参照：境界ワイヤーを取り付ける方法 19 ページ。
	境界ループのそばにある作業エリアの斜面の勾配が大きすぎます。	
	アイランド周囲の境界ワイヤーの敷設が適切ではありません。	
	付近にある金属の物体（フェンス、補強鋼材）や埋設ケーブルからの干渉があります。	境界ワイヤーを移動する、作業エリアのアイランドを増やすなどにより、信号強度を高めます。
	本製品が、近くにある他の製品の設置場所からの信号を区別することが困難になっています。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。参照：新規ループ信号 29 ページ。
<i>Empty battery</i> (バッテリー空)	本製品がチャージステーションを見つけることができません。	ガイドワイヤーの位置を変更してください。参照：ガイドワイヤーを取り付ける方法 19 ページ。
		チャージステーションの探索方法について、設置時の設定を確認してください。参照：チャージステーションの探索 26 ページ。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。参照：バッテリー 37 ページ。
	チャージステーションのアンテナが損傷しています。	チャージステーションのインジケータランプが赤色に点滅しているかどうか点検してください。参照：チャージステーションの LED インジケータランプ 47 ページ。この問題は、認定サービス技術者による対応が必要です。
<i>Slipped</i> (スリップ)	本製品が障害物に当たって停止したか、濡れた芝でホイールが動きません。	本製品を解放して、駆動力がなくなった原因を解消してください。濡れた草が原因であれば、芝生が乾いてから本製品を使用してください。
	作業エリア内に急な斜面があります。	勾配の最大許容値は 45 % です。これより急な斜面は隔離してください。参照：境界ワイヤーを斜面に設置する方法 15 ページ。
	ガイドワイヤーが角度を付けて斜面に敷設されていません。	ガイドワイヤーを斜面に敷設する場合は、斜面全体で角度を付けて敷設する必要があります。参照：境界ワイヤーの敷設場所について 14 ページ。
<i>Wheel motor overloaded</i> (ホイールモーターが過負荷になっています)	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。

メッセージ	原因	対応措置
Charging station blocked (ステーションブロック)	チャージプレートと接点プレートの接触が不良で、本製品が何度も充電を試みました。	本製品をチャージステーションに置いて、チャージプレートと接点プレートの接触が良好であることを確認してください。
	障害物により、本製品の動作が妨害されています。	障害物を取り除いてください。
	チャージステーションが傾いているか曲がっています。	チャージステーションが十分に平坦で水平な場所に置かれていることを確認します。チャージステーションは傾いたり曲がったりしてはいけません。
Stuck in charging station (チャージステーションにスタック)	本製品はベースプレート上でスリップしています。	ベースプレートをきれいにします。
	経路に異物があるため、本製品がチャージステーションから出られなくなっています。	障害物を取り除いてください。
Upside down (上下反転)	本製品の傾きが大きすぎるか、ひっくり返っています。	本製品の上下を正しくしてください。
Mower tilted (芝刈機の傾き)	本製品の傾きが最大角度を超えています。	本製品を平らなエリアに移動してください。
Needs manual charging (手動充電必要)	本製品の動作モードがセカンダリエリアに設定されています。	本製品をチャージステーションに置きます。この動作は正常であり、特別な作業は必要ありません。
Next start hh:mm (次回始動時間 hh:mm)	スケジュール設定により本製品は動作しません。	スケジュール設定を変更してください。参照： スケジュール 24 ページ。
	本製品の時計が合っていません。	時間を設定します。参照： Time & date (時刻 & 日付) 29 ページ。
Lifted (持ち上げられました)	本製品が障害物に当たったか動けないため、リフトセンサーが作動しています。	本製品を解放してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
Collision sensor problem, front/rear (衝突センサー不具合、前/後)	製品本体がシャーシの周囲を自由に動くことができません。	シャーシと本体の間にある汚れや異物を取り除き、本体がシャーシの周囲を自由に動くことを確認してください。
	本製品が動けなくなっています。	本製品を解放して、原因を解決してください。
Wheel motor blocked right/left (右/左ホイールモーターブロック)	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	ホイールとホイールの周りをきれいにしてください。

メッセージ	原因	対応措置
Alarm! (注意!) Mower switched off (芝刈機スイッチオフ)	本製品のスイッチがオフになったため、アラームが作動しました。	芝刈機のセキュリティ設定を [Security (セキュリティ)] メニューで調整してください。 参照: セキュリティ 29 ページ。
Alarm! (注意!) Mower stopped (芝刈機の停止)	本製品が停止したため、アラームが作動しました。	
Alarm! (注意!) Mower lifted (芝刈機が持ち上がりました)	本製品が持ち上げられたため、アラームが作動しました。	
Alarm! (注意!) Mower tilted (芝刈機の傾き)	本製品が持ち上げられたため、アラームが作動しました。	
Electronic problem (電気系の問題)	電子関連またはファームウェア関連の一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
Loop sensor problem, front/rear (前/後ループセンサーの問題)		
Tilt sensor problem (傾斜センサー不具合)		
一時的な問題		
Wheel drive problem, right/left (右/左ホイール駆動問題)		
Invalid device combination (無効な装置の組み合わせ)		
Ultrasonic problem (超音波の問題)		
GPS navigation problem (GPS ナビゲーションの問題)		
一時的なバッテリーの問題		
バッテリーの誤った組み合わせ		
Charging system problem (充電システムの問題)	チャージプレートと接点プレートに腐食や汚れがあります。	本製品を再始動してください。本製品のチャージプレートおよびチャージステーションの接点プレートを清掃してください。
	電子関連またはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	

メッセージ	原因	対応措置
Battery problem (バッテリーの問題)	バッテリー関連またはファームウェア関連の一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
	バッテリーのタイプが間違っています。	メーカーが推奨する純正バッテリーのみを使用してください。
Battery temperature outside limits (バッテリー温度が範囲外)	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合、本製品は動作しません。	温度が設定された範囲内にあり、スケジュール設定によって本製品の動作が許可されると、本製品は動作を再開します。チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
Charging current too high (高すぎる充電電流)	電源装置が間違っているか、不具合があります。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
接続の問題	本製品の接続回路基板に問題がある可能性があります。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
カッティングシステムの大きなアンバランス	ブレードディスクに振動があります。	使用を継続するとカッティングシステムに損傷が生じる可能性があります。ブレードとネジに損傷や摩耗がないことを確認してください。すべてのブレードが正しく取り付けられていること、ブレードディスクの各位置にブレードが1つのみ取り付けられていることを確認してください。

7.3 情報メッセージ

次の表は、Automower® Connect アプリの **Messages** (メッセージ) メニューに表示される情報メッセージをまとめたものです。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

メッセージ	原因	対応措置
Low battery (バッテリー低下)	本製品がチャージステーションを見つけることができません。	ガイドワイヤーの位置を変更してください。参照： ガイドワイヤーを取り付ける方法 19 ページ。
	バッテリーが消耗しています。	設置の設定でチャージステーションの探索方法が正しいことを確認してください。参照： チャージステーションの探索 26 ページ。
	チャージステーションのアンテナが損傷しています。	チャージステーションのインジケータランプが赤色に点滅しているかどうか点検してください。参照： チャージステーションの LED インジケータランプ 47 ページ。この問題は、認定サービス技術者による対応が必要です。
Settings restored (設定の復元)	[Reset all user settings (全ユーザー設定リセット)] が実行されたことを確認しています。	これは正常です。特別な操作は必要ありません。
Limited cutting height (刈高の制限)	刈高調整が動きません。	刈高調整を点検し、芝や異物を取り除いてください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
予期しない刈高調整		
Limited cutting height range (刈高範囲の制限)		
刈高の問題		
Cutting height blocked (刈高ブロック)		
Cutting system imbalance (カッティングシステムのアンバランス)	本製品がブレードディスクの振動を検出しました。	ブレードおよびネジが損傷または摩耗していないことを確認します。すべてのブレードが正しく取り付けられていることを確認します。3ヶ所のブレード位置のいずれかに、2枚のブレードが取り付けられていないか確認します。
Slope too steep (急すぎる斜面)	斜面が急すぎるため、本製品が停止しました。	境界ワイヤーの設置を変更して、この急斜面を作業エリアから除きます。参照： 境界ワイヤーを取り付ける方法 19 ページ。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Guide 1 not found</i> (ガイド1が見つかりません)	ガイドワイヤーがチャージステーションに接続していません。	ガイドワイヤーのコネクターがチャージステーションにしっかりと取り付けられているか点検してください。参照: <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 19</i> ページ。
<i>Guide 2 not found</i> (ガイド2が見つかりません)	ガイドワイヤーが破損しています。	どこが損傷しているか探してください。純正のカブラーを使用して、ガイドワイヤーの損傷しているセクションを新品のループワイヤーと接合して交換してください。
<i>Guide 3 not found</i> (ガイド3が見つかりません)	ガイドワイヤーが境界ループに接続されていません。	ガイドワイヤーが境界ループに正しく接続されているか点検してください。参照: <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 19</i> ページ。
<i>Guide calibration failed</i> (ガイド補正失敗)	本製品がガイドワイヤーの補正に失敗しました。	ガイドワイヤーが取扱説明書どおりに敷設されていることを確認してください。参照: <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 19</i> ページ。 次に本製品がチャージステーションを離れる際に、新しいガイドキャリブレーションが実行されます。
<i>Guide calibration accomplished</i> (ガイド補正完了)	本製品がガイドワイヤーの補正に成功しました。	特別な操作は必要ありません。
<i>GPS navigation problem</i> (GPS ナビゲーションの問題)	GPS アシストナビゲーション装置に問題があります。	このメッセージが頻繁に表示される場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。
<i>Weak GPS signal</i> (GPS 信号微弱)	作業エリアの大部分で空が遮られています。	可能であれば、GPS 信号を妨げている障害物を取り除きます。 GPS ナビゲーション機能を無効にし、芝生範囲機能を使用してください。参照: <i>芝生範囲 26</i> ページ。
<i>Difficult finding home</i> (ホーム探索困難)	本製品は、境界ワイヤーを数回追従しましたが、チャージステーションを発見できませんでした。	正しく設置されていません。参照: <i>設置 26</i> ページ。 境界ワイヤーの経路幅設定が適切ではありません。参照: <i>経路幅 27</i> ページ。 本製品は、メインエリア設定で、セカンダリエリア内で始動しました。
<i>Temporary problem with the server.</i> (サーバの一時的な問題です。)	もう一度やり直してください。	このメッセージが頻繁に表示される場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。
<i>Connection problems</i> (接続問題)	Automower® Connect モジュールの問題です。	本製品を再始動してください。接続に問題がある場合は、本製品のペアリングを解除して (<i>My mowers</i> (登録した芝刈機))、もう一度ペアリングします。問題が解決しない場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。
<i>Connection settings restored</i> (接続設定復元)	ワイヤレス接続の設定が、エラーのため、元に戻りました。	設定を確認し、必要に応じて修正してください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>SIM card requires PIN</i> (SIM カードが PIN 要求)	SIM カードはロック解除されている必要があります。	正しい SIM PIN が芝刈機メニュー ([Network (ネットワーク)] > [SIM card (シムカード)]) に入力されていることを確認してください。このメッセージが頻繁に表示される場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。
<i>SIM カードロック</i>	SIM カードを交換する必要があります。	最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。
<i>SIM card not found</i> (SIM カードが見つかりません)	Automower® Connect を使用するには、芝刈機に SIM カードを挿入する必要があります。	最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。
<i>Geofence problem</i> (ジオフェンスの問題)	GPS システムとの通信が不良 (または無し) のため、GeoFence が機能していません。	最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

7.4 チャージステーションの LED インジケータランプ

設置が完全に機能している場合、チャージステーションのインジケータランプは緑色で点灯または点滅している必要があります。緑以外の色が表示される場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従ってください。

www.husqvarna.com で詳しいヘルプを参照できます。さらに支援が必要な場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

ランプ	原因	対応措置
緑色の点灯	良好な信号	特別な操作は必要ありません。
緑色の点滅	信号は良好であり、ECO モードが有効になっています。	特別な操作は必要ありません。ECO モードの詳細については、ECO モード 26 ページを参照してください。
青色の点滅	境界ループがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーコネクタがチャージステーションに正しく取り付けられているか点検してください。境界ワイヤーを取り付ける方法 19 ページを参照してください。
	境界ループが破損しています。	どこが損傷しているか探してください。純正のカプラーを使用して、ループの損傷しているセクションを新品のループワイヤーで接合して交換してください。
赤色の点滅	チャージステーションのアンテナが遮断されています。	最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。
赤色の点灯	回路基板の不具合、またはチャージステーションに不適切な電源が接続されています。不具合は必ずサービス技術者が修正してください。	最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

7.5 本製品の LED インジケータランプ

本製品の上部にある LED インジケータランプは次のように現在の状況を示します。

ランプ	原因	対応措置
緑色の点灯	本製品は、芝刈り中か、チャージステーションを離れています。	特別な操作は必要ありません。
青色の点灯	本製品は、一時停止または駐車中、またはチャージステーションを探索中です。	特別な操作は必要ありません。
黄色の点灯	[STOP] ボタンが押されました。	本製品の上部にある [START] ボタンを押して、本製品を再び始動します。
赤色の点灯	エラーが発生し、本製品が停止しています。	[STOP] ボタンを押してエラーをクリアし、本製品の上部にある [START] ボタンを押して本製品を起動します。
黄色の点滅	本製品に PIN コードの入力が必要です。	本製品を始動するには、Automower® Connect アプリで PIN コードを確認する必要があります。

www.husqvarna.com で詳しいヘルプを参照できます。さらに支援が必要な場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

7.6 症状

本製品が期待通りに作動しない場合は、下の症状ガイドに従ってください。

www.husqvarna.com には FAQ (よく尋ねられる質問集) があり、多くの一般的な質問に対する詳細な回答が記載されています。不具合の原因が分からない場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

症状	原因	対応措置
本製品がうまくドッキングしない。	境界ワイヤーがチャージステーションからまっすぐ敷設されておらず、十分な距離がありません。	チャージステーションが適切に設置されていることを確認してください。参照: チャージステーションを設置する方法 18 ページ
	チャージステーションが斜面上にあります。	チャージステーションを水平な表面に設置してください。チャージステーションの設置場所について 13 ページを参照してください。
本製品が指定していない時間に作動する。	本製品の時計を設定する必要があります。	時計を設定します。Time & date (時刻 & 日付) 29 ページを参照してください。
	芝刈りの開始時刻と終了時刻が正しくない。	芝刈りの開始時刻と終了時刻の設定をリセットしてください。スケジュール 24 ページを参照してください。
本製品が振動する。	ブレードが損傷すると、カッティングシステムのバランスが悪くなります。	ブレードとネジを点検し、必要に応じて交換してください。ブレードの交換 37 ページを参照してください。
	同じ位置にあるブレードが多すぎると、カッティングシステムのバランスが悪くなります。	各ネジに対してブレードが 1 枚だけ取り付けられていることを確認してください。
	異なるバージョン (厚さ) の Husqvarna ブレードが使用されています。	ブレードのバージョンが異なっていないかを調べてください。
走行するが、ブレードディスクが回転していない。	本製品は、チャージステーションを探しています。	特別な操作は必要ありません。本製品がチャージステーションを探しているときは、ブレードディスクは回転しません。
1 回の充電で持続する本製品の芝刈り時間が通常よりも短い。	草などの異物がブレードディスクを妨害しています。	ブレードディスクを取り外して清掃してください。シャーンおよびブレードディスクの清掃 36 ページを参照してください。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。バッテリー 37 ページを参照してください。
芝刈り時間と充電時間が通常よりも短い。	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。バッテリー 37 ページを参照してください。
本製品がチャージステーションで数時間停止している。	スケジュールの設定のため、または [Park until further notice (さらなる通知があるまで駐車)] がアプリで選択されているために、本製品が駐車しています。	アプリを開いてスケジュール設定を編集するか、[Dashboard (ダッシュボード)] に移動して、本製品を始動します。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合、本製品は動作しません。	温度が設定された範囲内にあり、スケジュール設定によって本製品の動作が許可されると、本製品は動作を再開します。チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。

症状	原因	対応措置
本製品が、多くの場合、円形状、またはらせん状に移動する。	らせん状の芝刈りは、本製品の自然な動きの一部です。	スパイラルカットの強度を調整します。必要に応じて、この機能を無効にすることができます。 <i>Spiral cutting</i> (スパイラルカット) 25 ページを参照してください。
本製品が方向転換し、数分間、狭いエリアに留まります。	これは本製品の正常な動作です。本製品には GPS アシストナビゲーションが搭載されており、均等な芝刈結果が得られるようになっています。	特別な操作は必要ありません。
芝刈りの結果が不均一。	1 日あたりの本製品の作動時間が少なすぎます。	芝刈り時間を長くします。スケジュール 24 ページを参照してください。 <i>Weather timer</i> (天候タイマー) は、実際以上に芝が刈り取られていると感知しています。 <i>Weather timer</i> (天候タイマー) の強度レベルを上げます。これで問題が解決しない場合は、 <i>Weather timer</i> (天候タイマー) を無効にします。
	作業エリアの配置に関して、 <i>Lawn coverage</i> (芝生範囲) 機能が適切に設定されません。 注記: GPS アシストナビゲーションが有効になっている場合は該当しません。	<i>Lawn coverage</i> (芝生範囲) 機能の設定を確認してください。芝生範囲については、 <i>芝生範囲 26</i> ページを参照してください。
	作業エリアの形状により、本製品がすべてのリモートエリアへの経路を見つけられるように <i>[Area 1-5 (エリア 1~5)]</i> を使用する必要があります。 注記: GPS アシストナビゲーションが有効になっている場合は該当しません。	<i>[Area 1-5 (エリア 1~5)]</i> を使用して、本製品がリモートエリアに移動できるようにしてください。 <i>芝生範囲 26</i> ページを参照してください。
	作業エリアが広すぎます。	作業エリアを限定するか、作業時間を延長してください。スケジュール 24 ページを参照してください。
	刃先が鈍っています。	すべてのブレードを交換します。ブレードの交換 37 ページを参照してください。
	設定された刈高に対して芝が長すぎます。	刈高を上げてから徐々に下げます。
	ブレードディスクまたはモーターシャフト周辺に草が蓄積しています。	ブレードディスクがスムーズに、容易に回転することを確認してください。そうでない場合は、ブレードディスクのネジを緩めて、草や異物を取り除いてください。シャーンおよびブレードディスクの清掃 36 ページを参照してください。

7.7 ループワイヤーの損傷を発見

ループワイヤーの損傷は、通常ショベルを使用した庭仕事など、意図せずにワイヤーを物理的に損傷するために起こります。また、霜柱の立つ国では、尖った石が地中で移動して、ワイヤーを損傷することがあります。設置時にワイヤーを張り過ぎた場合も、損傷することがあります。

設置直後に芝を短く刈り込み過ぎた場合も、ワイヤーの絶縁体を損傷することがあります。絶縁体を損傷しても、数週間または数ヵ月後まで作業中断が発生しないことがあります。



注意： 設置後の最初の数週間は必ず最大の刈高を選択し、それから 2 週間ごとに一度に 1 段階ずつ高さを下げて、希望の刈高に達するようにします。

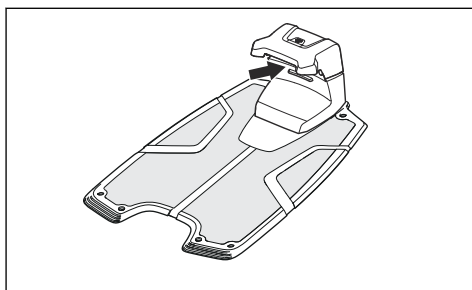
ループワイヤーの接合不良により、接合を行ってから数週間で作業が中断することがあります。接合不良は、例えば、純正カブラーをプライヤーで十分に圧着していない場合や、純正カブラーより品質が劣るカブラーを使用した場合に発生することがあります。

注記： 他のトラブルシューティングを行う前に、まずすべての接合を点検してください。

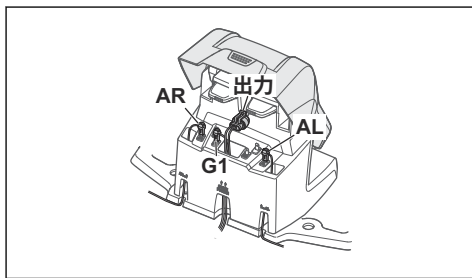
ワイヤーが破損している場所は、破損が発生していそうな場所で、徐々にループの距離を半分にしながら、非常に短いワイヤーのセクションだけが残るようにすることで発見できます。

ECO モードが有効な場合は、以下の方法は使用できません。最初に必ず **ECO** モードをオフにしてください。参照： **ECO** モード 26 ページ。

1. チャージステーションのインジケータランプが青色で点滅していることを確認します。この場合、境界ループの破損を示しています。参照： チャージステーションの **LED** インジケータランプ 47 ページ。



2. チャージステーションまでの境界ワイヤーが正しく接続されており、損傷していないことを確認します。チャージステーションのインジケータランプがまだ青色に点滅しているかどうか点検してください。

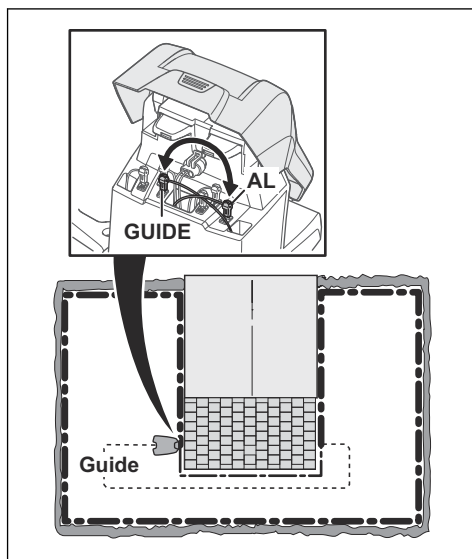


3. チャージステーションでガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を切り替えます。

AL および **G1** の接続を切り替えて開始します。一部のモデルには、追加のガイドワイヤーがあります。これらのワイヤーについても同じ手順に従うことができます。

インジケータランプが緑色で点灯する場合は、境界ワイヤー上の **AL** とガイドワイヤーが境界ワイヤー

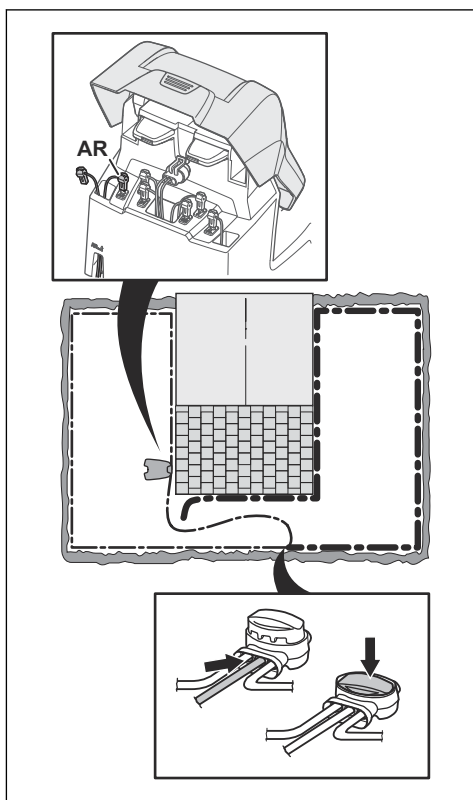
ーに接続されている地点の間（図の黒い太線）のどこかで破損しています。



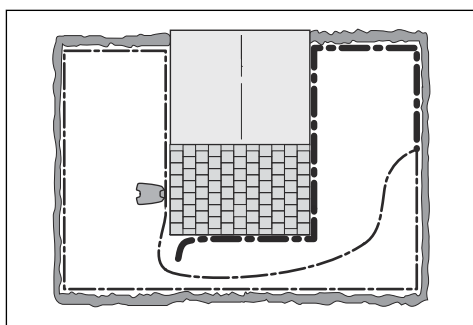
この不具合を修正するには、境界ワイヤー、コネクター、およびカプラーが必要です。

a) 問題があると思われる境界ワイヤーが短い場合、最も簡単な方法は **AL** と、ガイドワイヤーと境界ワイヤー（太い黒い線）が接続する地点との間にあるすべての境界ワイヤーを交換することです。

b) 問題があると思われる境界ワイヤーが長い場合（太い黒い線）、次の手順を実行します。 **AL** と **G1** を元の位置に戻します。 **AR** の接続を外します。新品のループワイヤーを **AR** に接続します。この新品のループワイヤーのもう一端を問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。

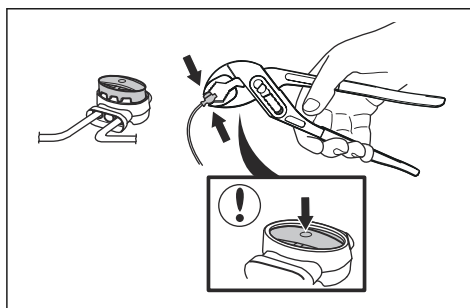


インジケータランプが緑色になったら、接続を解除した端から新しいワイヤーを接続した地点の間 (下の図の黒い太線) のどこかでワイヤーが破損しています。この場合は、接続解除した端に新しいワイヤーを近づけて (破損が疑われるワイヤーセクションのほぼ中央まで)、インジケータランプが緑色になるか再度確認します。



緑色点灯と青色点滅が切り替わるワイヤーのセクションが非常に短くなるまで、この作業を続けます。以下の手順 5 の指示に従います。

4. 上記の手順 3 でインジケータランプが青色で点滅したままの場合: **AL** と **G1** を元の位置に戻します。次に **AR** と **G1** を切り替えます。インジケータランプが緑色で点灯している場合、**AL** の接続を外して、新しい境界ワイヤーを **AL** に接続します。この新品のワイヤーのもう一端を問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。上記の **3a)** および **3b)** と同じ手順に従います。
5. 破損を特定できたら、破損しているセクションを新品のワイヤーに交換します。常に純正のカプラーをお使いください。



8 搬送、保管、廃棄

8.1 搬送

同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。

- 該当するすべての国内規制に従ってください。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。

8.2 保管

- 本製品を完全に充電します。バッテリーの充電 34 ページを参照してください。
- **メインスイッチ**で本製品の接続を解除します。本製品をオフにする 33 ページを参照してください。
- 製品を清掃します。製品の清掃 36 ページを参照してください。
- 本製品は、乾燥した霜の降らない場所に保管してください。
- 保管中は、すべてのホイールを水平な場所に置いたままにするか、または Husqvarna ウォールハンガーを使用してください。
- チャージステーションを屋内に置いておく場合は、チャージステーションから電源とすべてのコネクターを取り外します。各コネクターワイヤーの端をグリースの入ったコンテナに入れます。

注記： チャージステーションを屋外に置いておく場合は、電源とコネクターを外さないでください。

8.3 廃棄

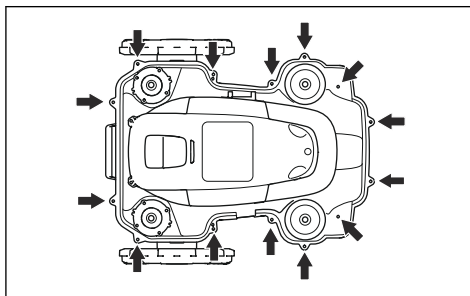
- 地域のリサイクル要件および適用される法規に従ってください。
- バッテリーの取り外し方法については、バッテリーの取り外し方法 53 ページを参照してください。

8.3.1 バッテリーの取り外し方法

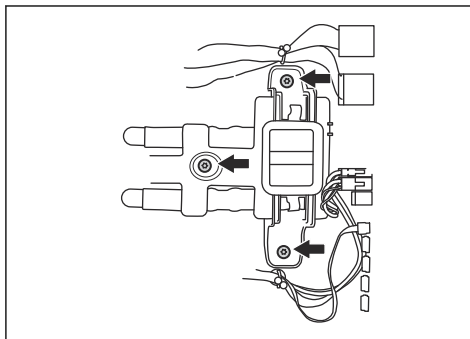


注意： バッテリーは、製品を廃棄するときのみ取り外してください。保証シールを外すと、Husqvarna の保証は適用されなくなります。

1. **メインスイッチ**で本製品の接続を解除します。本製品をオフにする 33 ページを参照してください。
2. 充電ケーブルのグロメットを製品の正面に引き出し、コネクターを慎重に取り外します。
3. カバーを持ち上げます。角を 1 つずつ持ち上げてください。
4. 14 本のネジをトルクス 20 で外します。



5. シャーシ上部の後端を持ち上げます。
6. メイン回路基板からケーブルを取り外します。
7. シャーシの上部を取り外します。
8. バッテリーを固定している 3 本のネジをトルクス 20 で外します。



9. メイン回路基板からバッテリーの接続を取り外します。
10. バッテリーカバーを開いて、バッテリーを取り外します。

9 主要諸元

9.1 主要諸元

寸法	Automower® 520	Automower® 550
長さ (cm/インチ)	72/28.3	72/28.3
幅 (cm/インチ)	56/22	56/22
高さ (cm/インチ)	31/12	31/12
質量、kg/ポンド	13.3/29.3	12.9/28.4
電気系統	Automower® 520	Automower® 550
リチウムイオンバッテリー 18.5 V/4.0 Ah、品番	593 11 41-06	
リチウムイオンバッテリー 18 V/5.2 Ah、品番		588 14 64-01 (2 個) 5.2 Ah /バッテリー
リチウムイオンバッテリー 18V、4.0 Ah、品番	593 11 41-02、593 11 42-01、593 11 41-04、580 68 33-03、593 11 41-05、 593 11 41-07、593 11 41-08	
リチウムイオンバッテリー 18.25V、4.0 Ah、品番	593 11 41-03、593 11 42-02、580 68 33-04	
リチウムイオンバッテリー 18V、5.0 Ah、品番		593 11 84-01、593 11 84-03、588 14 64-02、593 11 84-04、593 11 84-05、 593 11 84-06 (2 個) 5.0 Ah /バッテリー
リチウムイオンバッテリー 18V、4.9 Ah、品番		593 11 84-02、588 14 64-03 (2 個) 4.9 Ah/パッ テリー
電源 (28V DC)、V AC	100/240	100/240
低電圧ケーブル長、m/フィート	10/33	10/33
最大使用時の平均エネルギー消費量	17 kWh/月	23 kWh/月
充電電流、A DC	2.2	7
電源装置のタイプ ⁶	ADP-60PR XX、 FW7438/28/D/XX/Y	ADP-200MR XX、 FW7458/28/D/XX/Y
平均芝刈り時間、分	75	270
平均充電時間、分	50	60

⁶ XX および YY は、市場分類のための英数字または空白文字です。技術的な差異はありません。

境界ワイヤーアンテナ	Automower® 520	Automower® 550
動作周波数帯、Hz	100/80000	100/80000
最大磁界 ⁷ 、dBuA/m	82	82
最大無線周波電力 ⁸ 、mW @60m	<25	<25
音響データ ⁹	Automower® 520	Automower® 550
知覚騒音レベル、dB (A)	64	67
計測音響騒音レベル、dB (A)	64	67
騒音排出の不確定性 K _{WA} (dB (A))	3	2
使用者の耳における音圧騒音レベル ¹⁰ 、dB (A)	56	59
芝刈り	Automower® 520	Automower® 550
カッティングシステム	ピボット付きカッティングブレード (5 枚)	
カッティングモーターの最大回転数、r/min	2300	2300
芝刈り中の消費電力、W +/- 20 %	30	35
刈高、cm/インチ	2~6/0.8~2.4	2~6/0.8~2.4
刈幅、cm/インチ	24/9.4	24/9.4
最狭の通過可能経路、cm/インチ	60/24	60/24
作業エリアの最大角度、%	45	45
境界ワイヤーの最大斜度、%	15	15
境界ワイヤーの最大長、m/フィート	800/2600	800/2600
最大長のガイドループ ¹¹ 、m/フィート	400/1300	400/1300
境界ワイヤーの最大距離、m/フィート	35/115	35/115
対応エリア - スポーツ 24、m ² /エーカー	1700/0.4	3500/0.9
対応エリア - 標準 48、m ² /エーカー	2400/0.6	5000/1.25
対応エリア - 最大 72、m ² /エーカー	3000/0.75	6000/1.5
IP コード	Automower® 520	Automower® 550
ロボット芝刈機	IPX4	IPX4
チャージステーション	IPX1	IPX1
電源	IP44	IP44

⁷ EN 303 447 に基づいて測定。

⁸ 無線装置が動作する周波数帯におけるアンテナへの最大有効出力電力です。

⁹ 機械指令 2006/42/EC および規格 EN 50636-2-107 に基づいて決定。ただし、ISO 11094:1991 に従って測定される知覚騒音レベルを除く。

¹⁰ 音圧騒音の不確実性 K_{pA}、2~4 dB (A)。

¹¹ ガイドループとは、チャージワイヤーに適切に接続されたガイドワイヤーに連結した境界ワイヤーの一部とガイドワイヤーによって形成されるループです。

対応周波数帯	
Bluetooth® 周波数帯	2400.0～2483.5 MHz
Automower® Connect 2G	GSM 850 MHz、E-GSM 900 MHz、DCS 1800 MHz、PCS 1900 MHz
Automower® Connect 3G	バンド 19 (800 MHz)、バンド 5 (850 MHz)、バンド 8 (900 MHz)、バンド 2 (1900 MHz)、バンド 1 (2100 MHz)
Automower® Connect 4G	バンド 12 (700 MHz)、バンド 17 (700 MHz)、バンド 28 (700 MHz)、バンド 13 (700 MHz)、バンド 20 (800 MHz)、バンド 26 (850 MHz)、バンド 5 (850 MHz)、バンド 19 (850 MHz)、バンド 8 (900 MHz)、バンド 4 (1700 MHz)、バンド 3 (1800 MHz)、バンド 2 (1900 MHz)、バンド 25 (1900 MHz)、バンド 1 (2100 MHz)、バンド 39 (1900 MHz)

出力クラス		
Bluetooth® 出力電力	8 dBm	
Automower® Connect 2G	出力クラス 4 (GSM/E-GSM)	33 dBm
	出力クラス 1 (DCS/PCS)	30 dBm
	出力クラス E2 (GSM/E-GSM)	27 dBm
	出力クラス E2 (DCS/PCS)	26 dBm
Automower® Connect 3G	出力クラス 3	24 dBm
Automower® Connect 4G	出力クラス 3	23 dBm

この一般的な技術データからの偏差は、国別の章に記載されています。

リモコン、無線送信機、ヒアリンググループ、地中の動物用電気柵など、他の無線システムと本製品の間の互換性は完全には保証されません。

本製品は英国またはチェコ共和国で製造されています。シリアルプレートの情報を参照してください。参照：製品の概要 7 ページ。

9.2 登録商標

Bluetooth® マークとロゴは、Bluetooth SIG, inc. が所有する登録商標です。当該マークの使用について、Husqvarna は、ライセンスの許諾を受けています。

10 日本市場に適用可能

10.1 コンプライアンス要件

日本では、4G バンド 3、8、26、28 の携帯電話通信のみが適合します。

Bluetooth® モジュールはシャーシ上部の HMI ボード (PCBA) にあります。これは認定されたサービス技術者のみがアクセスできます。

このロボット芝刈機に搭載された内部モジュールは次の法律に基づいて日本国内での使用が認められています：電波法 本機は、日本の電波法に適合しています。本機は改造できません。改造した場合、適合証明が無効になります。



R

215-JUK026



T

D 22-0001 215



R

202-SMG024



AUTOMOWER® はハスクバーナABが所有する商標です。
著作権© 2023 HUSQVARNA。無断複写・転載を禁じます。

www.husqvarna.com

取扱説明書原本



1143607-79



2023-10-18